
SoxPlusAdministratorKit

用户指南

SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド

本『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』の内容および関連する iGrafx FlowCharter ソフトウェアは、㈱サンプランニングシステムズおよび iGrafx, LLC とそれぞれ該当するライセンサーの所有物であり、著作権によって保護されています。本ユーザーズガイドおよび関連ソフトウェアの全部または一部を複製することは、堅く禁止されています。

© Sunplanning Systems.Co.Ltd. All rights reserved. iGrafx、iGrafx® FlowCharter®, iGrafx® Process™ および iGrafx® Process360Live®は、カナダ、合衆国、および/またはその他の国々における、iGrafx, LLC および/またはその子会社の商標または登録商標です。SOX+は㈱サン・プランニング・システムズの商標です。Microsoft、Windows、および Excel は、合衆国および/またはその他の国々における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Adobe と Acrobat Reader は、合衆国および/またはその他の国々における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。その他の製品、フォント、および会社名とそのロゴは、それぞれ該当する会社の商標または登録商標である場合があります。

【本ガイドをご利用頂く方へ：ガイドの基本ポリシーについて】

SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド Ver7.1.0 は

日本国内の事務局の方々が海外の子会社、関係会社向けに配布ファイルを作成するために AdministratorKit 中国語版を使用することを想定の上作成されています。よって本ガイドを使用される対象者の作業効率性を考慮し、ガイド中の説明文章は和文、項目名やメニューについては中文で記述してあります旨ご了承ください。

iGrafx®

目次

第1章 SoxPlusAdministratorKit の概要	6
SoxPlusAdministratorKit の起動	7
SoxPlusAdministratorKit と定義データ	7
SoxPlusAdministratorKit 使用の流れ (イメージ)	8
第2章 SoxPlusAdministratorKit の機能	9
SoxPlusAdministratorKit のメニュー	9
SoxPlusAdministratorKit の使用手順	11
SoxPlusAdministratorKit を効率的にご利用頂くために	12
テストモード設定	12
既存配布ファイル定義データの読込	15
既存配布ファイル定義データの読込手順	15
第3章 SOX+画面・図形機能カスタマイズ	17
項目名・データリストの変更	17
変更箇所の選択方法	18
データ定義設定画面	20
文档信息ダイアログボックス	26
业务详情ダイアログボックス	27
IT 业务详情ダイアログボックス	28
风险ダイアログボックス	29
控制ダイアログボックス	31
IT 控制ダイアログボックス	34
控制属性と目标风险属性の違いについて	34
系统容器	36
风险词典編集機能	37
风险词典 (RiskDictionary.xls) の編集・保存	37
SOX+図形・ナンバー設定	39
プレフィックス (図形ナンバー接頭語) 設定	39
メモ表示設定	40
図形ナンバーゼロ埋め表示設定	41
リスク図形 ナンバー表示設定	42
キーコントロール文字 (Key) の自動表示切替	43
第4章 出力帳票テンプレートカスタマイズ	44
RCM ファイルの構成	44
RCM フォーマットの変更	45
RCM テンプレートの表示	45
RCM 出力情報の設定	52
RCM データ出力位置の変更	53
データ出力位置の変更をする前に	53
最初の警告メッセージ	53

RCM データ出力位置の変更	54
RCM コントロール表示設定	56
帳票一覧フォーマットの変更	58
帳票一覧テンプレートの表示	58
帳票一覧出力情報の設定	60
第5章 配布ファイル作成	61
配布ファイルの設定項目	62
保存先	62
配布ファイルに同梱するコレクション・iGrafx テンプレートファイル	62
配布先ユーザーのカスタマイズ定義データの取込位置	63
第6章 配布ファイルの履歴管理	64
配布ファイル作成履歴	64
第7章 サンプル図形集	66
サンプルコレクション図形集の追加	66
サンプルコレクションの紹介	67
第8章 自社用図形集と iGrafx テンプレートを作る	71
自社用図形集を作成する	71
図形の編集方法	71
iGrafx テンプレートの作成	76
iGrafx テンプレートサンプルの活用	76
業務詳細項目フィールドの利用	78
第9章 付録	81
業務描述シート列情報	81
RCM シート列情報	84
使用帳簿凭证一覧シート列情報	90
凭证一覧シート列情報	92

第 1 章 SoxPlusAdministratorKitの概要

本書では、SOX+で使用される図形の入力画面及び RCM 出力した際に作成される RCM ファイルのフォーマットなどをカスタマイズできる SoxPlusAdministratorKit（以降、文中では AdministratorKit と略称）の使用方法を説明します。

SOX+は、日本版 SOX 法と呼ばれる金融商品取引法や会社法で要求されている要件に合わせた内容を目指して開発されておりますが、選択項目リストをカスタマイズして自社に合わせて利用したいというご要望を実現するために、AdministratorKit をご提供しております。

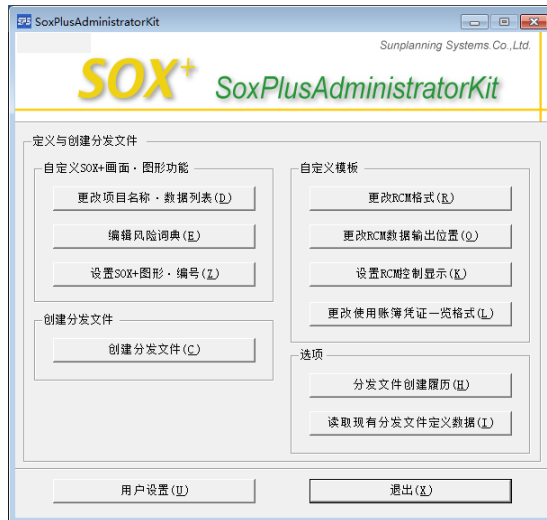
AdministratorKit では以下のカスタマイズが可能です。

詳細内容については、該当ページの説明をご覧ください。

- ・ SOX+図形（文書情報、業務詳細、リスク、コントロール、システムコンテナ）ダイアログボックスの各項目名、選択リストなどの変更、項目の表示方法を変更できます。（P17）
- ・ RCM テンプレートのフォーマット（表示項目の切り替えや項目名の変更、書式の変更、さらには項目の並び替え）を変更できます。（P44）
- ・ リスクの入力を補助するリスク辞書を作成することができます。（P37）
- ・ SOX+図形を識別するプレフィックス（各ナンバーの前につける文字）を変更することができます。（P39）
- ・ 業務詳細、リスク、コントロールの図形に登録した情報をポップアップ表示することができます。（P40）
- ・ 業務詳細、リスク、コントロールの図形のナンバーをゼロ埋めで表示することができます。（P41）
- ・ リスク図形に表示する情報を、リスクナンバーから分類番号へ変更することができます。（P42）
- ・ キーコントロールに「Key」と表示することができます。（P43）
- ・ RCM フォーマットの列順、列表示、データのソート順を変更することができます。（P53）
- ・ RCM に表示されるキーコントロール行の背景色の表示有無を設定することができます。（P56）
- ・ RCM 出力時に、既出コントロール非表示切替設定の表示有無を設定することができます。（P57）

SoxPlusAdministratorKitの起動

开始メニューの「所有程序」より「iGrafx」フォルダの中にある「SoxPlusAdministratorKit」をクリックし、起動します。



SoxPlusAdministratorKitと定義データ

定義データとは

SOX+の各ダイアログボックスの画面、各機能の動作は、定義データと呼ばれる多数の設定ファイルによって定義されています。

AdministratorKit は、同じバージョンの SOX+の定義データと同一内容の定義データを持っており、その定義データは、AdministratorKit の各カスタマイズ機能から直接編集・更新することができます。(同じ PC に SOX+ がインストールされていても、SOX+の定義データを編集しているわけではありません。)

AdministratorKit が持っている定義データに対して必要な編集・更新を行い、それらの定義データをユーザーとユーザーでやり取りのできるファイルにすることができます。このファイルを配布ファイルと言います。

SOX+のメニューから配布ファイルを指定して取込をすると、SOX+は配布ファイルから取り込んだ定義データに従って動作するようになります。

定義データの保存

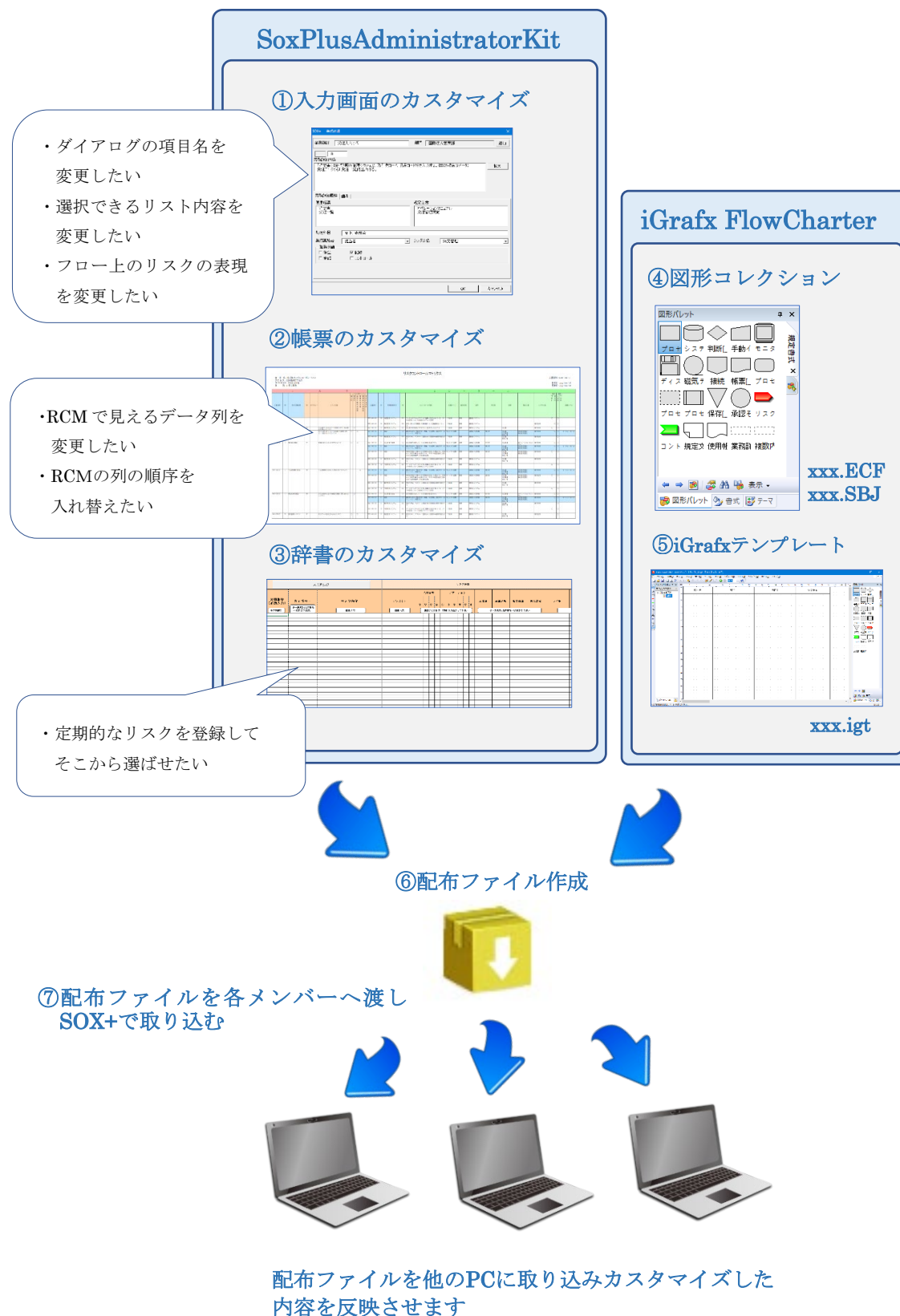
AdministratorKit の定義データは、使用するユーザーごとに保存されています。

定義データは、初期化するか、配布ファイルや履歴から以前の定義データを読み込んだりしない限り、それまでの編集内容がそのまま保持されます。

AdministratorKit の各カスタマイズ機能で何かを変更した場合、そのユーザーの定義データを直接書き換えます。大きな変更を加えたり、色々を変更を試したいような場合は、必ずそれまでの状態を配布ファイルとして保存するようにしてください。

変更を元に戻したい場合、最後に保存した配布ファイルの状態に戻すことしかできません。直前の変更だけを部分的に元に戻すようなことはできませんのでご注意ください。

SoxPlusAdministratorKit使用の流れ (イメージ)



第2章 SoxPlusAdministratorKitの機能

この章では、AdministratorKit の機能の概要について説明します。
AdministratorKit の各メニューで変更した内容は、自動的に定義データに保存されます。

SoxPlusAdministratorKitのメニュー



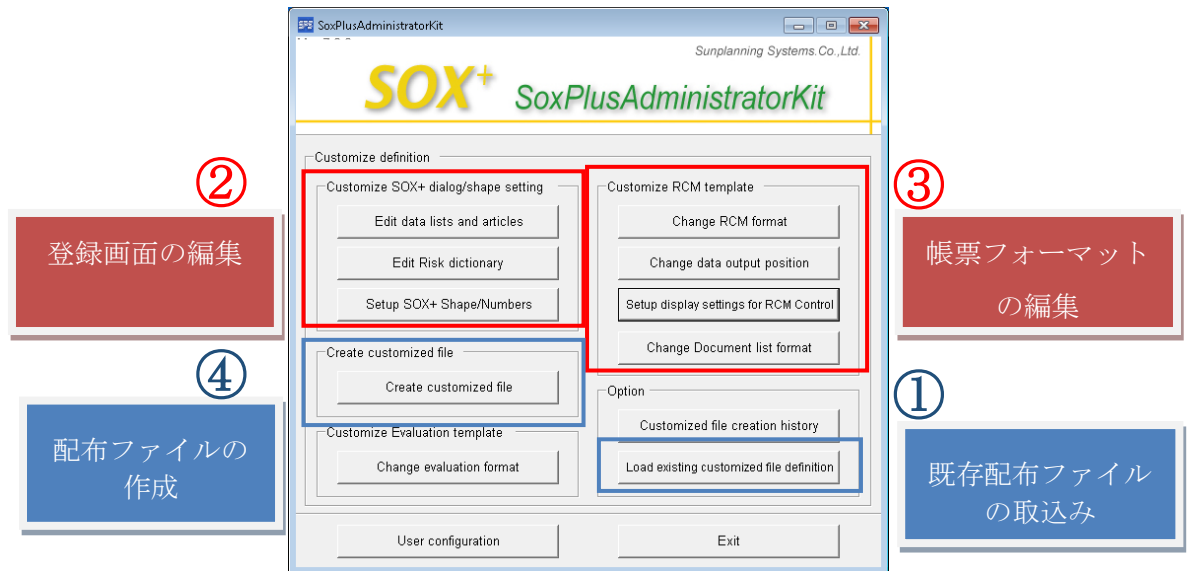
AdministratorKit の主な機能は以下の通りです。

配布ファイル定義・作成		
自定义 SOX+画面・图形功能 (→第4章 P17～)		
更改项目名称·数据列表	SOX+ダイアログボックスの各欄の設定を変更します。	
编辑风险词典	リスク入力時にテンプレートとして使用するリスク辞書を設定します。	
设置SOX+图形·编号	常规	プレフィックス (RやCなどの図形ナンバーの接頭語) を設定します。
	业务详情图形	メモ表示機能 (業務詳細内容のポップアップ機能) を使用するかどうかを設定します。
	风险图形	リスク図形上の表示を、ナンバー表示にするか分類番号表示にするか指定します。 メモ表示機能 (リスク内容のポップアップ機能) を使用するかどうかを設定します。
	控制图形	キーコントロール文字 (Key) を自動表示するか、非表示にするかを指定します。 メモ表示機能 (コントロール内容のポップアップ機能) を使用するかどうかを設定します。

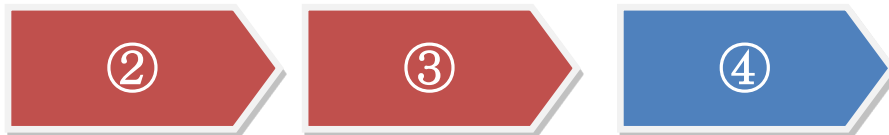
自定义模板（→第5章 P44～）			
	更改RCM格式	RCM 模板 的 显 示	RCMテンプレートの外観を変更します。
		RCM 輸 出 信 息 的 设 置	RCM出力する情報（シート）を指定します。
	更改RCM数据输出位置	RCMテンプレートの各項目の位置（列）を変更します。 ※この変更を行うとRCMテンプレートは初期化されます。	
	设置RCM控制显示	RCM	RCM上で「关键控制」の背景の色を変更するか指定します。
			RCM出力時に既出コントロール非表示切替機能（既出コントロールを繰り返し出力するか、2回目以降非表示にするかを切り替える機能）を使用するかを指定します。
	更改使用账簿凭证一览格式	使用账 簿 凭 证 一 览 模 板 的 显 示	帳票一覧テンプレートの外観を変更します。
		使用账 簿 凭 证 一 览 输 出 信 息 的 设 置	帳票一覧出力する情報（シート）を指定します。
创建分发文件（→第6章 P61～）			
	创建分发文件	AdministratorKitの定義データを配布ファイルとして保存します。	
选项			
	分发文件创建履历	（→第7章 P64～） 配布ファイルの作成履歴を表示して、そのときの設定に戻すことができます。	
	读取现有分发文件定义数据	（→第3章 P15～） 配布ファイルから定義データをAdministratorKitに読み込むことができます。設定の初期化もここで行います。	
その他			
用户设置			
	自定义测试模式设置	（→第2章 P12～） テストモード中は、同じPCにインストールされているSOX+の動作を、AdministratorKitの設定に一時的に同期させます。 SOX+で同時に確認しながらカスタマイズができます。	
	添加示例收藏集图形集	（→第8章 P66～） 同じPCのiGrafx FlowCharterに、内部統制文書化プロジェクト用の図形サンプル集を追加します。	

SoxPlusAdministratorKitの使用手順

AdministratorKit では、たくさんのカスタマイズ機能を持っていますが、ここでは目的に応じた使用手順をいくつか簡単に示します。参考にしてください。

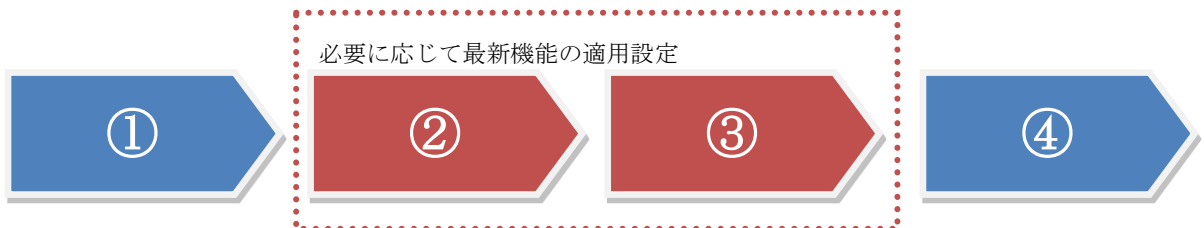


1. 初めて配布ファイルを作成する場合



2. 旧バージョンの配布ファイルを最新バージョンにバージョンアップする場合

※SOX+およびAdministratorKitをバージョンアップする際は、配布ファイルもバージョンアップする必要があります。



SoxPlusAdministratorKitを効率的にご利用頂くために

AdministratorKit でカスタマイズした定義データは、通常、配布ファイルを作成して iGrafx の SOX+メニューで取込むことによって、カスタマイズした定義データの内容を確認することができます。

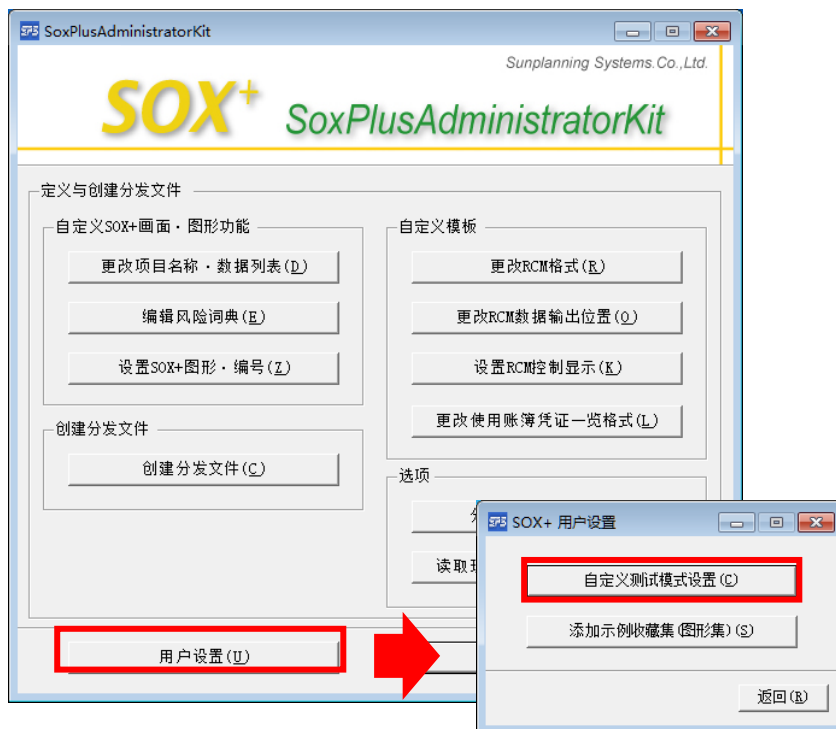
しかし、カスタマイズした内容が SOX+の画面でどのように反映されるのかを、毎回配布ファイルを作成して、SOX+メニューで取り込んで確認しては大変です。

AdministratorKit では、カスタマイズした内容をすぐに確認できるテストモード設定機能を備えています。

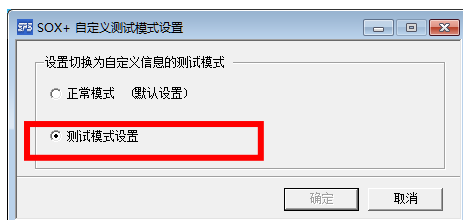
テストモード設定

テストモード設定を適用すると、同じ PC にインストールされている SOX+が、AdministratorKit の設定に同期して動きます。

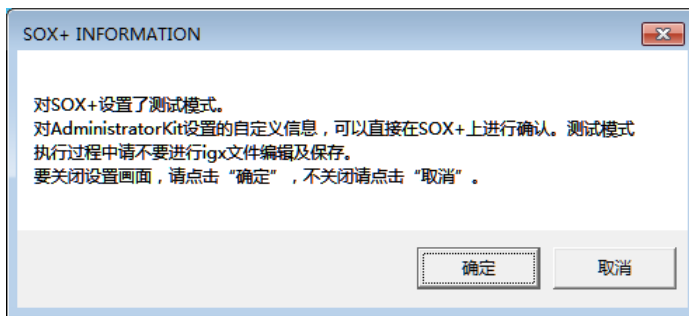
- ① AdministratorKitの「ユーザー設定」をクリックし、「自定义测试模式设置」ボタンをクリックします。



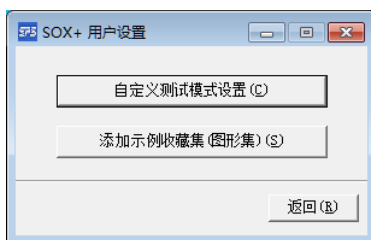
- ② 『测试模式设置』にチェックを入れ、「確定」ボタンをクリックします。



- ③ メッセージが表示されますので、「確定」ボタンをクリックします。



- ④ 「返回」ボタンをクリックします。



- ⑤ AdministratorKit のトップ画面に「正在执行测试模式」と表示されます。



テストモード設定は、もう一度切り替えるか、AdministratorKit を終了するまで有効です。

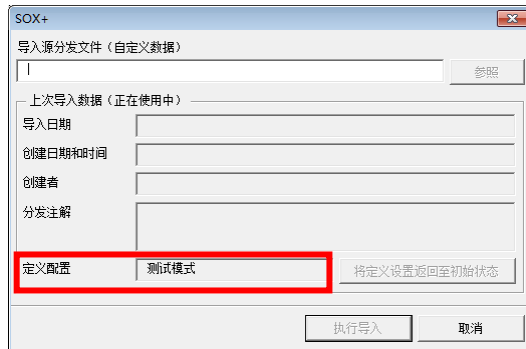
テストモードの間は、設定内容の確認のみを行い、業務フローチャートの編集や保存を行わないようにしてください。

(業務フローチャートを開いたままテストモードへ切り替えた場合は、業務フローチャートを閉じて、新しい文書か、どう変更してもかまわないような文書を開いてください。)

SOX+ の画面で確認

業務フローチャートを編集している iGrafx ツールで、テストモードであることを確認することができます。
SOX+メニューより「SOX+バージョン情報」を開き、「導入分发文件」ボタンをクリックします。

「上次导入数据（正在使用中）」の中の「定义配置」が「测试模式」になっていることを確認します。

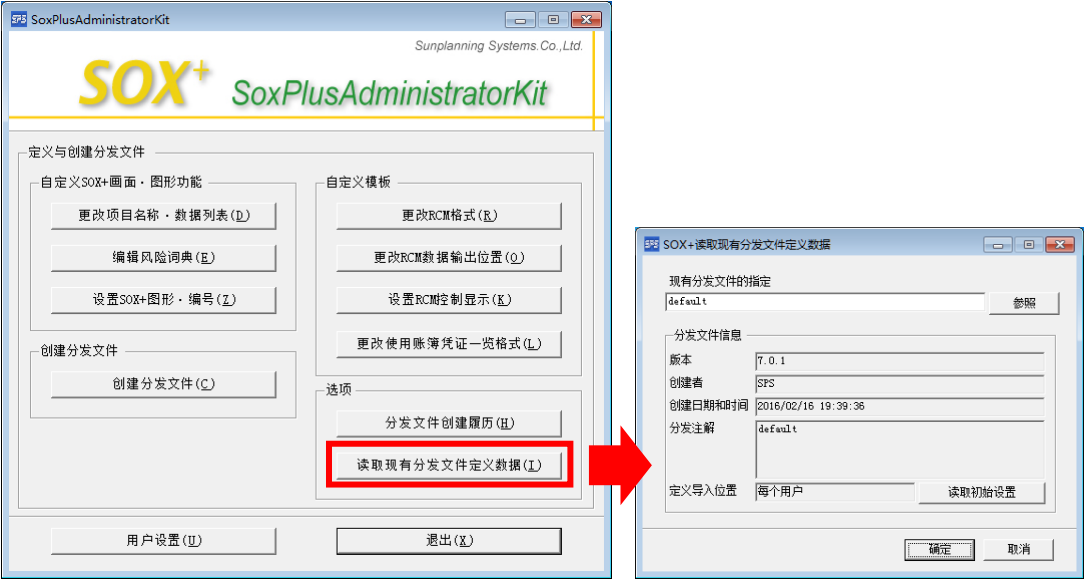


既存配布ファイル定義データの読込

「读取现有分发文件定义数据」機能は、既に存在する配布ファイルを読み込み、設定内容を引継ぎます。

この機能は、以下のようなケースに使用して頂くことができます。

- ・ SOX+のバージョンアップに伴い、配布ファイルをバージョンアップする場合、旧バージョンの配布ファイルを最新バージョンの AdministratorKit に読み込み、以前の設定を引き継ぎます。
- ・ PC の入れ替えがあった場合、新しい PC にインストールした AdministratorKit に配布ファイルを読み込み、以前の PC で作成していた設定を引き継ぎます。
- ・ 配布ファイル作成者が変更になった場合、以前の担当者が作成した配布ファイルを新しい担当者の AdministratorKit に読み込み、以前の担当者が作成していた設定を引き継ぎます。



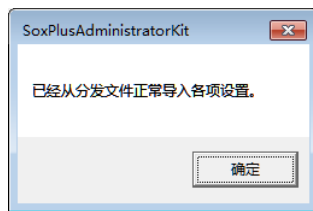
内容	説明
现有分发文件的指定	読込対象の配布ファイルを指定します。
分发文件信息	指定した配布ファイルの詳細データが表示されます。
读取初始设置	すべての設定内容を初期状態に戻します。

既存配布ファイル定義データの読込手順

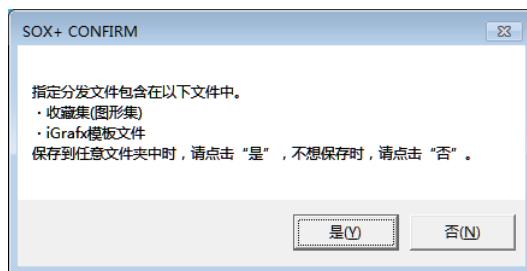
手順は以下の通りです。

- ① 「读取现有分发文件定义数据」ボタンをクリックし、「读取现有分发文件定义数据」ダイアログボックスを開きます。
- ② 「参照」ボタンより読込対象の配布ファイルを指定し「确定」ボタンをクリックします。

- ③ 以下のメッセージが表示されます。「確定」ボタンをクリックします。



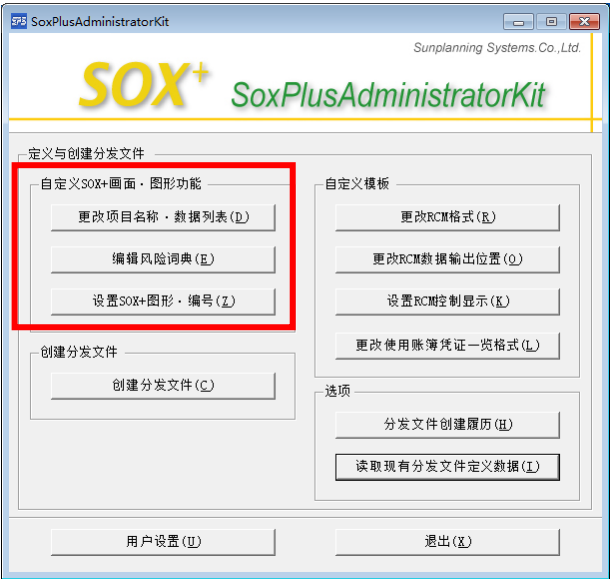
- ④ 配布ファイルに図形集とiGrafxテンプレートが含まれていた場合は、以下のメッセージが表示されます。



- ⑤ 保存する場合は「是」をクリックし、保存先フォルダを指定します。

第3章 SOX+画面・図形機能カスタマイズ

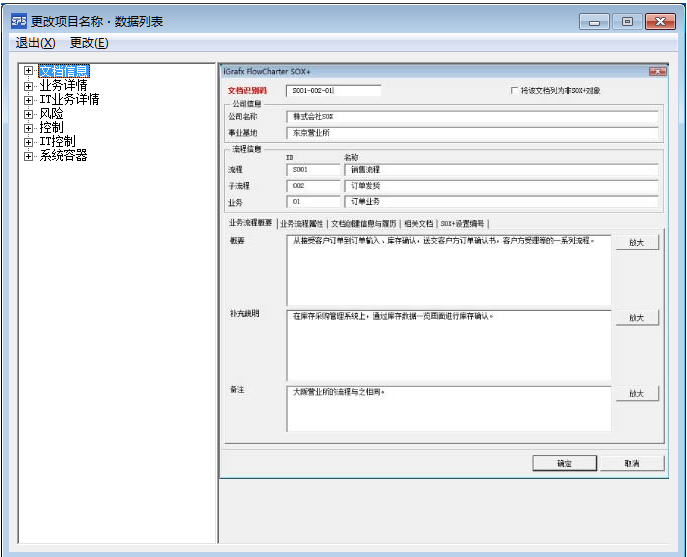
SOX+図形の登録画面の編集や機能設定、リスク辞書の登録などを編集します。



項目名・データリストの変更

SOX 図形+の登録画面をカスタマイズします。

SOX 図形+の登録画面の各項目名および各種データリスト（チェックボックス・ラジオボタン・ドロップダウンリスト）の変更、各欄の表示・非表示の切り替えなどを行います。



内容	説明
退出	項目名・データリストの変更ダイアログボックスを閉じます。それまでに変更した内容は全て保存されます。
更改	項目を選択して「更改」を選択すると、「SOX+数値定義」ダイアログボックスが開きます。

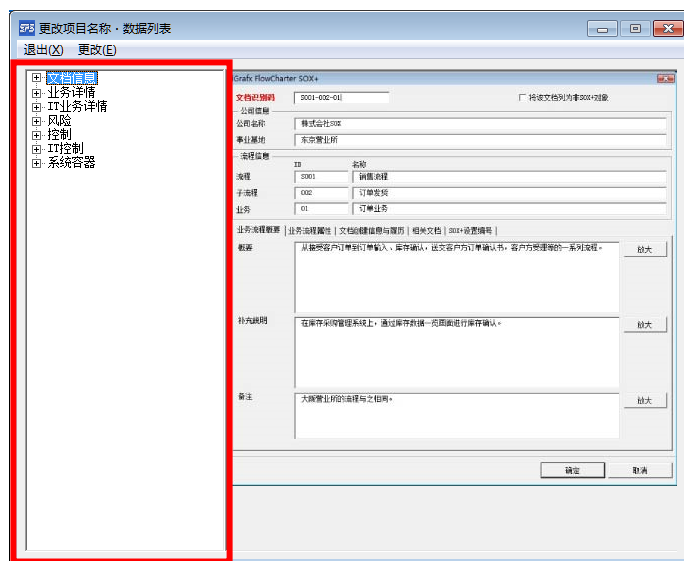
編集対象となるダイアログボックスは以下のとおりです。

- ・ 文档信息
- ・ 业务详情
- ・ IT 业务详情
- ・ 风险
- ・ 控制
- ・ IT 控制
- ・ 系统容器

変更箇所の選択方法

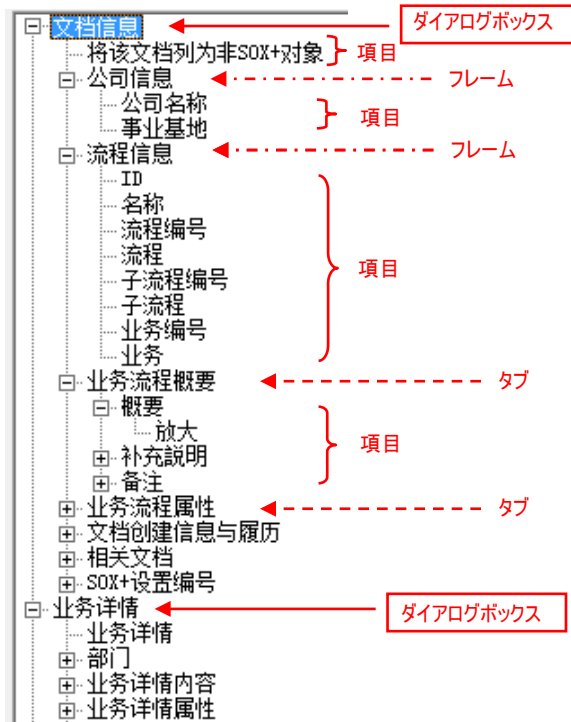
ダイアログボックスの切り替え

左側の対象ダイアログボックスを選択すると、右側のダイアログボックスの画像が選択対象のダイアログボックスに切り替わります。



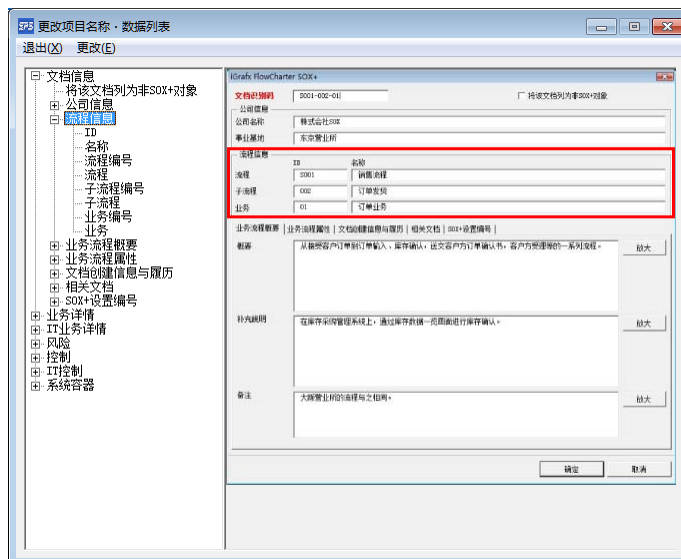
ツリー構造の見方

対象ダイアログボックスの「+」をクリックすると、詳細な項目箇所をツリー構造で表示します。



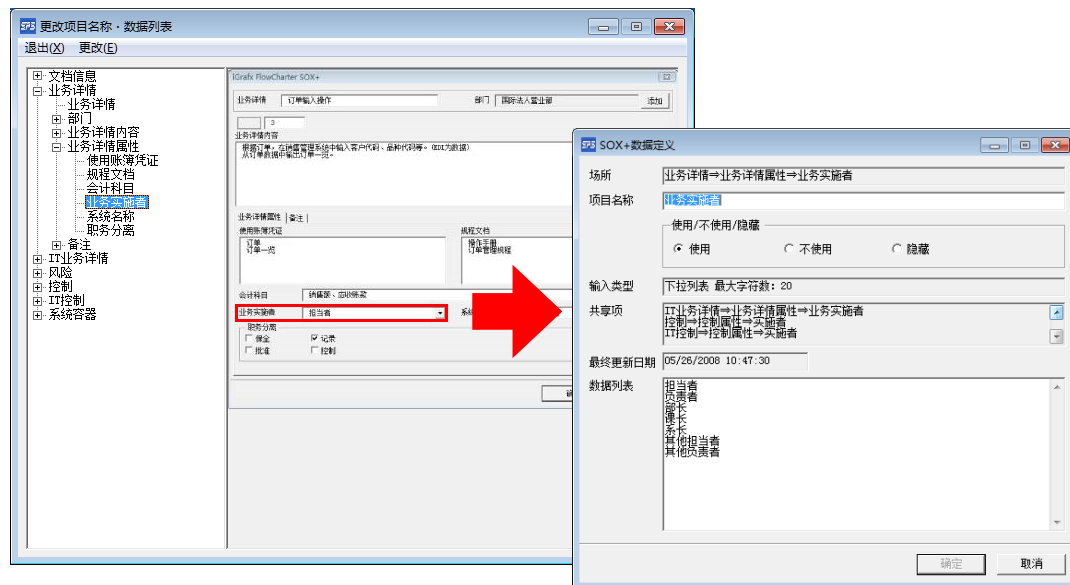
例) 文書情報の「流程信息」を選択すると、右側の赤枠を対象範囲とします。

「流程信息」のフレーム内にある項目については、さらに「+」をクリックして項目を展開することで、詳細項目を選択することができます。



データ定義設定画面

修正対象の項目をダブルクリックもしくは項目を選択して「更改」メニューをクリックし、「SOX+データ定義」ダイアログボックスを開きます。

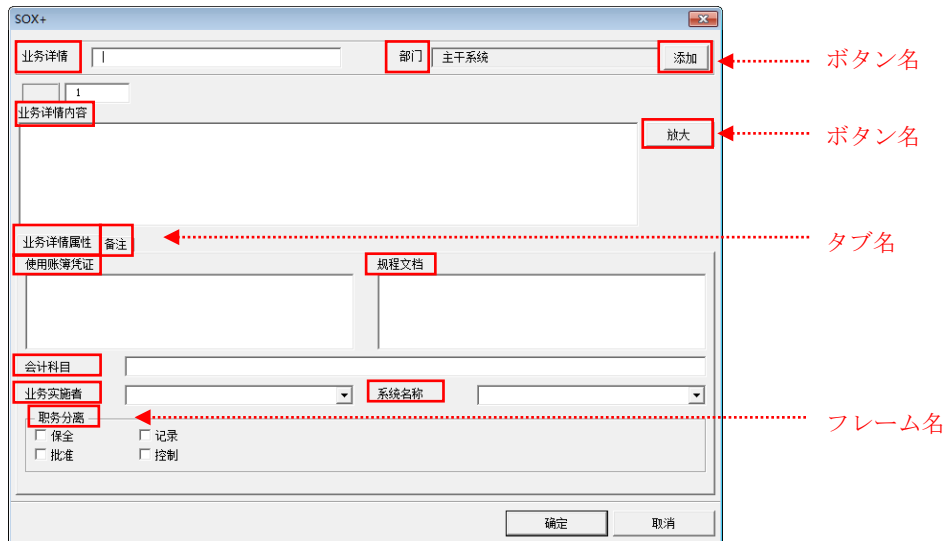


内容	説明
場所	この項目が属しているツリー構造ルートを表示します。
项目名称	ダイアログボックスに表示される項目の名称です。自由に変更可能です。
使用/不使用/隐藏	項目の使用/不使用/隠蔽を切り替えます。
输入类型	データリストのタイプと最大項目数、最大文字数を表示します。 データリストには下拉列表、复选框、单选按钮があります。
共享项	同じデータリストを共有する、他の項目を表示します。
最终更新日期	最後に変更を行った日付を表示します。
数据列表	項目の値に使用するデータリストを表示します。 項目の入力タイプが、下拉列表、复选框、单选按钮の場合に編集できます。

項目名称

各 SOX+図形の項目名、フレーム名、タブ名、ボタン名を変更することができます。
項目名を変更する際は、以下のことに留意してください。

- ① 画面の表示幅からはみ出した部分は表示されません。
- ② RCMテンプレートの項目名称も同様に修正する必要があります。

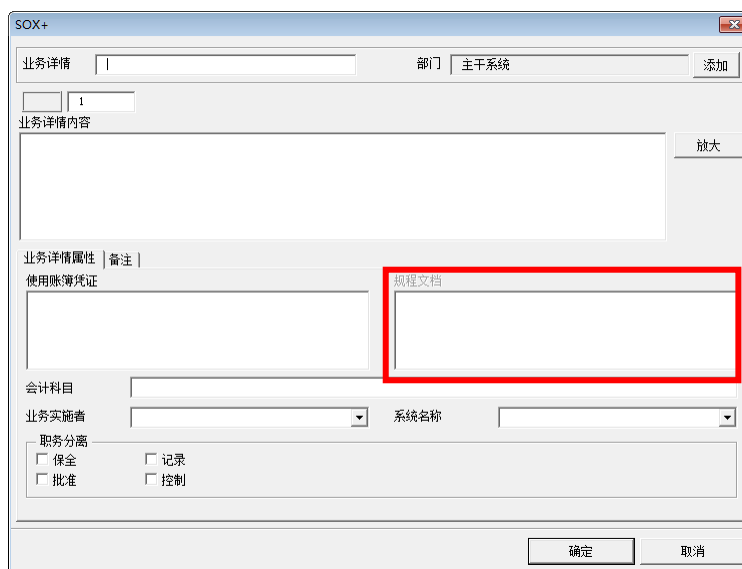


使用/不使用/隠蔽の切り替え

各項目を、使用/不使用/隠蔽に切り替えることができます。

- ・ 「不使用」： グレーアウトで表示し、入力・編集をできない状態にします。
- ・ 「隠蔽」： 項目名および入力欄を非表示にします。

例) 業務情報の「规程文档」を「不使用」にした場合



例) 业务详情の「规程文档」を「隐藏」にした場合

タブ名やフレーム名を不使用・隐藏にすると含まれる項目全てが不使用・隐藏となります。

例えば、控制の「性质」フレームを不使用にすると、その中に含まれる項目「种类」「程度」「控制级别」「控制缺陷」が「使用」の設定であっても、「隐藏」になります。

不使用・隐藏の項目でも、SOX+の「批量加载」機能で、RCM から取り込む際に該当セルにデータが入力されていれば、フロー内に取り込みます。また、項目を不使用・隐藏にする前に入力された内容は、項目を不使用・隐藏に設定した配布ファイルを取り込んだ後も、フローのファイル内に残ります。

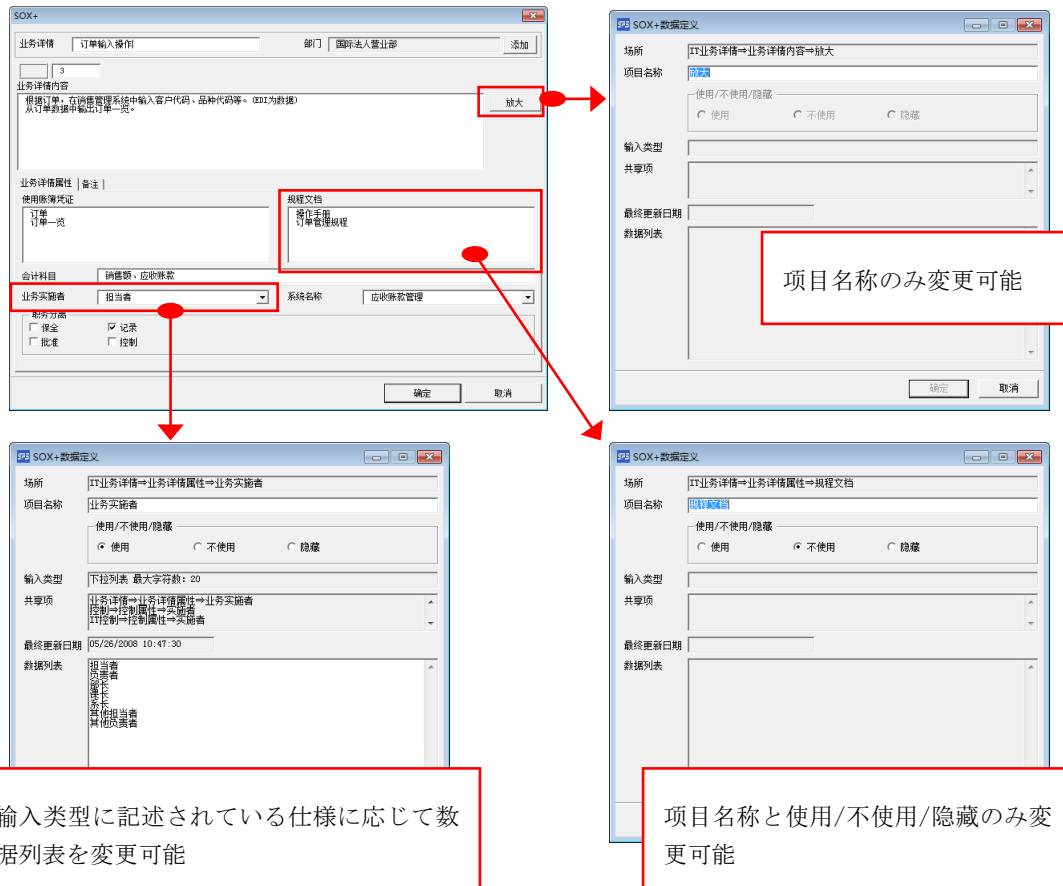
その場合、ダイアログボックスからの編集はできないのでご注意ください。

入力类型と数据列表

入力类型と数据列表は、項目によって空欄の場合と記述のある場合があります。

記述がある場合は、入力类型に記述された仕様に応じて、数据列表を変更できます。

空欄の場合は、自由入力のテキスト項目、あるいはフレーム名・タブ名・ボタン名といった入力項目を持たないケースで、项目名称の変更と使用/不使用/隠蔽の切り替えのみ変更することができます。しかし、ボタンなどの項目によっては、使用/不使用/隠蔽の切り替えができないものもあります。



1. 下拉列表

ポップアップ表示されるリストの中から一つ選択するのが下拉列表です。

一行が一つのデータです。データリスト一行あたりの文字数は、入力类型に記述された最大文字数までです。リストの行数に制限はありません。

初期設定値として表示したい値がある場合は1行目に登録し、空白（未選択）表示したい場合は、1行目を空白行にします。「业务实施者」「系统名称」に限っては、自由入力も可能なため、1行目にデータが入っていても、初期設定値は空白になります。

2. 复选框

复选框は複数選択できるデータを並べたものです。

一行に一つのデータが入力されています。入力类型に記述された最大項目数および最大文字数で登録することができます。改行のみでも一つのデータとしてカウントされます。

例) 审计要点は、横2列14項目分の登録が可能です。文字数は最大14文字までです。

复选框タイプの場合、データリストの編集を行った場合は、RCMのヘッダー部の編集も必要となります。詳しくはP48のRCMシートの「データ項目数の変更に伴うRCMヘッダーの修正」の項をご参照ください。

3. 单选按钮

单选按钮は複数の選択肢から1つだけチェックできます。

一行に一つのデータが入力されています。入力类型に記述された最大項目数および最大文字数で登録することができます。改行のみでも一つのデータとしてカウントされます。

例) 性質の中の「種類」の場合、横1列に各3文字までの3項目の登録が可能です。

单选按钮タイプの場合、データリストの編集を行った場合は、RCM のヘッダー部の編集も必要となります。詳しくは P48 の RCM シートの「データ項目数の変更に伴う RCM ヘッダーの修正」の項をご参照ください。

4. 共享项

項目の中には複数の箇所データリストを共有しているものがあります。

例えば、业务详情图形の「业务实施者」のデータリストは、IT 业务详情图形の「业务实施者」、控制图形の「实施者」、IT 控制图形の「实施者」と同じデータリストを共有しています。

文档信息ダイアログボックス

文档信息ダイアログボックスの中の編集可能項目のデータ定義を行います。

初期設定の項目名		入力タイプ	表示切替	備考
将该文档列为非SOX+対象		チェックボックス	△	「隠藏」のみ不可
公司信息		—	○	
	公司名称	テキストボックス	○	
	事业基地	テキストボックス	○	
流程信息		—	○	
	ID	—	○	
	名称	—	○	
	流程编号	テキストボックス	○	
	流程	テキストボックス	○	
	子流程编号	テキストボックス	○	
	子流程	テキストボックス	○	
	业务编号	テキストボックス	○	
	业务	テキストボックス	○	
业务流程概要		—	○	
	概要	テキストボックス	○	
	放大	ボタン	—	
	补充説明	テキストボックス	○	
	放大	ボタン	—	
	备注	テキストボックス	○	
业务流程属性		—	○	
	会计科目	テキストボックス	○	
	系统名称	テキストボックス	○	
	使用账簿凭证	テキストボックス	○	
	规程文档	テキストボックス	○	
文档创建信息与履历		—	○	

初期設定の項目名		入力タイプ	表示切替	備考
	创建者信息	—	○	
	部门	テキストボックス	○	
	负责人	テキストボックス	○	
	担当者	テキストボックス	○	
	创建履历	—		
	版本	テキストボックス	○	
	状态	テキストボックス	○	
	创建者	テキストボックス	○	
	创建日期	テキストボックス	○	
	最终更新者	テキストボックス	○	
	最终更新日期	テキストボックス	○	
	最终批准者	テキストボックス	○	
	最终批准日期	テキストボックス	○	
相关文档		—	○	
	文档识别码	—	—	
	业务名称	—	—	
	再获取	ボタン	—	
	删除	ボタン	—	
SOX+设置编号				
	请指定各图形的基点编号	—	—	

业务详情ダイアログボックス

业务详情ダイアログボックスの中の編集可能項目のデータ定義を行います。

初期設定の項目名		入力タイプ	表示切替	備考
业务详情		—	—	
部门		—	—	
	添加	ボタン	—	

初期設定の項目名		入力タイプ	表示切替	備考	
業務详情内容		テキストボックス	○		
		放大	－		
業務详情属性		－	○		
		使用账簿凭证	テキストボックス	○	
		规程文档	テキストボックス	○	
		会计科目	テキストボックス	○	
		业务实施者	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 ・ 担当者 ・ 负责者 ・ 部长 ・ 课长 ・ 课长 ・ 其他担当者 ・ 其他负责者
		系统名称	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 ・ 应收账款管理 ・ 销售管理 ・ 人事管理 ・ 采购管理
		职务分离	チェックボックス	○	最大項目数(12) 最大文字数(6) 初期設定値 ・ 保全 ・ 批准 ・ 记录 ・ 控制
备注		－	○		
	备注	テキストボックス	○		

IT业务详情ダイアログボックス

业务详情と IT 业务详情の各データリストは、基本的に同じ内容を共有しています。

最初は IT 业务详情の「业务实施者」「规程文档」「职务分离」は不使用項目となっています。必要に応じて使用に切り替えてください。

リスクダイアログボックス

リスクダイアログボックスの中の編集可能項目のデータ定義を行います。

初期設定の項目名		入力タイプ	表示切替	備考
業務详情		キャプション	—	
部門		キャプション	—	
分类编号		キャプション	—	
词典		ボタン	—	初期設定のでは隠蔽
范畴		ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ J-SOX 法 ・ 公司法 ・ 其它
确认控制		ボタン	—	
风险内容		テキストボックス	○	
	风险内容	ボタン	—	
风险属性		—	○	
	影响	テキストボックス	○	
	控制目的	チェックボックス	○	最大項目数(7) 最大文字数(22) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 报告の可靠性 ・ 业务的有效性及效率性 ・ 事业活动相关的法令遵守 ・ 资产保全
	审计要点	チェックボックス	○	最大項目数(14) 最大文字数(14) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 真实性 ・ 完整性 ・ 权利与义务的归属 ・ 估价的妥当性 ・ 分摊的适当性 ・ 表达和批露的妥当性
	影响度	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重大 ・ 轻微 ・ 容许

初期設定の項目名		入力タイプ	表示切替	備考
	影響範囲	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 跨公司 ・ 单个公司内 ・ 跨流程 ・ 单个流程内
	发生频度	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 约 1 个月 ・ 约 3 个月 ・ 约 6 个月
	估计损失	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 100 万日元未満 ・ 1000 万日元未満 ・ 3000 万日元未満 ・ 5000 万日元未満 ・ 1 亿日元未満 ・ 3 亿日元未満 ・ 5 亿日元未満 ・ 10 亿日元未満 ・ 超过 10 亿日元
标签・备注		—	○	
	标签	テキストボックス	○	
	备注	テキストボックス	○	

制御ダイアログボックス

制御ダイアログボックスの中の編集可能項目のデータ定義を行います。

初期設定の項目名		入力タイプ	表示切替	備考
業務详情		キャプション	—	
部門		キャプション	—	
制御类型		ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手工控制 ・ IT 依存控制 ・ IT 控制
制御内容		テキストボックス	○	
	放大	ボタン	—	
制御属性		キャプション	○	
	凭证	テキストボックス	○	
	规程文档	テキストボックス	○	
	实施者	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者 ・ 负责者 ・ 部长 ・ 课长 ・ 系长 ・ 其他担当者 ・ 其他负责者
	系统名称	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 应收账款管理 ・ 销售管理 ・ 人事管理 ・ 采购管理
	控制频度	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 随时 ・ 每天 ・ 每周 ・ 每半月 ・ 每月 ・ 每季 ・ 每半年

初期設定の項目名		入力タイプ	表示切替	備考
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時（毎年 1 点左右） ・ 随時（毎年 2～4 点左右） ・ 随時（毎年 5～9 点左右） ・ 随時（毎年 10～49 点左右） ・ 随時（毎年 50～200 点左右） ・ 随時（毎年 200 回以上） ・ 毎年 ・ 毎日多次
	随時発生頻度	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値（非表示） <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日 1 回 ・ 毎週 1 回 ・ 毎月 1 回 ・ 毎 3 个月 1 回 ・ 毎 6 个月 1 回
	制御分類	チェックボックス	○	最大項目数(16) 最大文字数(14) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 批准与决策 ・ 管理者等审核 ・ 核对 ・ 通过职务分离进行内部牵制 ・ 完善规程与指南 ・ 确认预算比等指标 ・ 抽取错误与异常 ・ 系统上的控制 ・ 访问限制
	凭证	キャプション	○	
	種類	ラジオボタン	○	最大項目数(3) 最大文字数(3) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防性 ・ 发现性
	程度	ラジオボタン	○	最大項目数(3) 最大文字数(3) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一次性的 ・ 二次性的
	制御级别	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般控制 ・ 关键控制

初期設定の項目名			入力タイプ	表示切替	備考
		制御缺陷	キャプション	○	
目標風險			キャプション	○	
	追加		ボタン	—	
	削除		ボタン	—	
	目標風險確認		ボタン	—	
	業務		キャプション	—	
	風險		キャプション	—	
	風險信息		キャプション	—	
	審計要點		チェックボックス	○	最大項目数(14) 最大文字数(14) 初期設定値（不使用） <ul style="list-style-type: none"> ・ 真实性 ・ 完整性 ・ 権利与義務の归属 ・ 估价的妥当性 ・ 分攤的适当性 ・ 表达和批露的适当性
	性質		キャプション	○	
		種類	ラジオボタン	○	最大項目数(3) 最大文字数(3) 初期設定値（不使用） <ul style="list-style-type: none"> ・ 預防性 ・ 发现性
		程度	ラジオボタン	○	最大項目数(3) 最大文字数(3) 初期設定値（不使用） <ul style="list-style-type: none"> ・ 一次性的 ・ 二次性的
		控制级别	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値（不使用） <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般控制 ・ 关键控制
		控制缺陷	キャプション	○	初期設定値（不使用）
測試詳情			キャプション	○	
	測試		キャプション	○	
		方法	テキストボックス	○	

初期設定の項目名			入力タイプ	表示切替	備考
		実施者	テキストボックス	○	
		周期	テキストボックス	○	
标签・备注			キャプション	○	
	标签		テキストボックス	○	
	备注		テキストボックス	○	
导入			ボタン	－	

IT 制御ダイアログボックス

制御と IT 制御のリストデータは、基本的に同じ内容を共有していますが、以下の制御と IT 制御だけ、データリストが異なります。

初期設定の名	入力タイプ	表示切替	備考
制御类型	ドロップダウンリスト	○	最大文字数(20) 初期設定値 ・ IT 制御

初期設定値では IT 制御の「業務実施者」「規程文档」は不使用項目となっています。必要に応じて使用に切り替えてご利用ください。

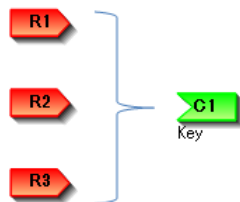
制御属性と目标风险属性の違いについて

リスクとコントロールの関係における属性情報は、以下の2つの考え方による設定が可能です。

1. 制御属性

制御を主体にした考え方です。インストール直後はこの設定になっています。

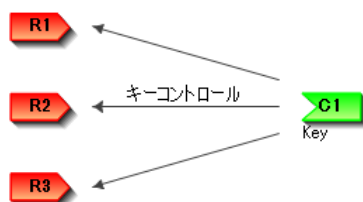
例えば、複数リスクを1つの制御で統制していた場合でも、すべての目標リスクに対して制御の属性は一意です。



2. 目標リスク属性

対象となるリスクを主体とした考え方です。AdministratorKit で設定します。

例えば、複数リスクを1つの制御で統制していた場合に、目標リスクごとに制御の属性を設定することができます。



R1

R2

R3

「目標リスク」タブの「审计要点」を「使用」にすると、目標リスクに定義されている审计要点は赤字で表示されます。このうちコントロールが統制している审计要点がいずれであるかを特定することができます。

目標リスク属性を使用する場合の設定方法

目標リスク属性を使用される場合は、以下の操作が必要となります。

- ① 「目標リスク」タブの属性項目は「不使用」となっています。必要に応じて「使用」に変更してください。
- ② 制御属性タブの同種の項目（種類や程度、制御级别、制御缺陷など）は不要となりますので、「不使用」または「隠蔽」にしてください。

※項目を「不使用」または「隠蔽」に変更した場合、既に入力済みのデータは消えずにそのまま残ります。切り替えの際は、制御属性タブの「制御级别」に「关键控制」を指定している既存のコントロールがないかどうか注意してください。「不使用」または「隠蔽」の状態では指定を変更できません。

- ③ 上記設定に伴ってRCMシートの列項目を表示または非表示で使用する列項目を整えます。

RCM シートの列項目一覧については P84 をご覧ください。

システム容器

システム容器内で設定できる「システム名称」についてデータ定義を行います。

初期設定の項目名	入力タイプ	出力	備考
部門	キャプション	—	
システム名称	ドロップダウンリスト	—	最大文字数(20) 初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・ 应收账款管理 ・ 销售管理 ・ 人事管理 ・ 采购管理

风险词典編集機能

风险词典は、Excel ファイルで管理されています。
「编辑风险词典」ボタンより风险词典（RiskDictionary.xlsx）を開き、リスクの登録と編集を行います。

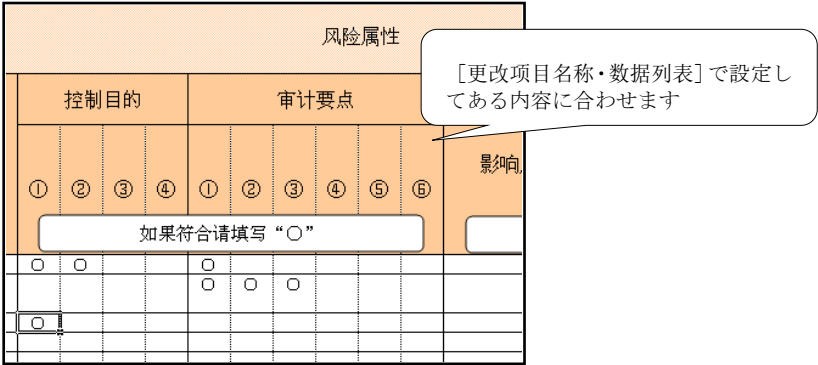


※マクロを有効にして利用します。マクロが有効になっていない場合は、「输入确认」ボタンが使用できません。

风险词典(RiskDictionary.xlsx)の編集・保存

タイトル（見出し）の変更

风险词典の第 1～3 行は、見出し行になっています。見出しの内容は自由に変更できますが、原則として対応する項目名・データリストに表示を合わせておきます。特に「更改项目名称・数据列表」画面で項目名・データリストを編集した場合は、必ず変更しておきます。



表示非表示の切り替え

辞書として必要な項目（列）は網羅されています。使用しない項目（列）は「隠藏」に、既に非表示になっている列を使用したい場合は、「取消隠藏」にして利用します。列の追加と削除は行わないでください。

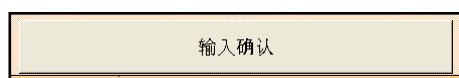
辞書データの入力

項目欄の入力指示に従って編集します。
登録するリスク数に制限はありません。

初期設定の項目名	説明
分類番号	必須入力です。半角英数字5文字までのコードを割り当てます。
范畴	登録した「数据列表」の値を記入します。
风险内容	自由入力です。(最大文字数：2000)
影响	自由入力です。(最大文字数：1000)
控制目的	該当する項目に「○」を記入します。
审计要点	該当する項目に「○」を記入します。
影响度	登録した「数据列表」の値を記入します。
发生频度	登録した「数据列表」の値を記入します。
影响范围	登録した「数据列表」の値を記入します。
估计损失	登録した「数据列表」の値を記入します。
标签	自由入力です。(最大文字数：510)
备注	自由入力です。(最大文字数：2048)

输入确认

入力を終わったら、「输入确认」ボタンをクリックします。入力内容が制限に沿っているかどうか確認します。エラーがあったセルには色が付きますので、内容を修正してください。



保存

全ての追加・編集を終わったら、上書き保存して Excel を閉じます。編集済みの风险词典は、配布ファイルを作成したときに一緒に保存されます。

风险词典機能を使用できるように設定する

风险図形の「词典」ボタンは、初期設定で「不使用」に設定されています。

「更改项目名称・数据列表」で、「使用」に切り替えてください。(P 17 参照)

SOX+図形・ナンバー設定

ここでは、SOX+で利用する以下の機能を設定することができます。

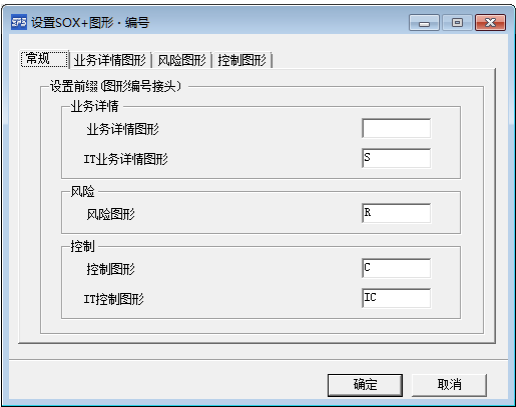
- 1. SOX+図形の識別用プレフィックス文字の変更
- 2. メモ登録機能の設定
- 3. リスク図形の番号表記の切替
- 4. キーコントロール文字の表示・非表示の切替

新しい設定を既存の業務フローチャートに適用する場合は、業務フローチャートを開いて、SOX+メニューの「自定义数据」機能を使用して図形の表示を更新します。

プレフィックス(図形ナンバー接頭語)設定

SOX+図形には、それぞれのナンバーの前に、種類ごとに設置前綴(図形编号接头)が設定されています。

設置前綴(図形编号接头)は、3 文字までの半角アルファベットで自由に変更できます。ただし、違う種類の図形に同一の設置前綴(図形编号接头)を使用することはできません。



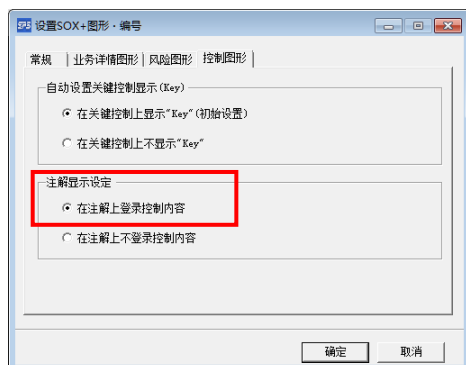
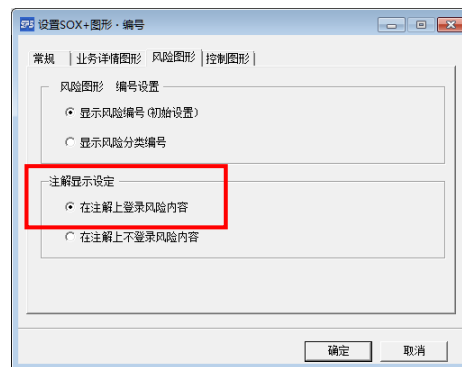
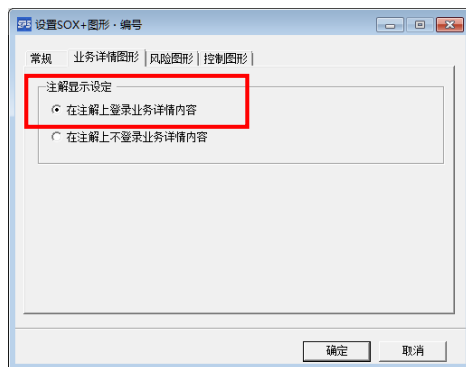
図形サンプル				
业务详情	业务详情图形		IT业务详情图形	
风险				
控制	控制图形		IT控制图形	

標準では、业务详情图形がプレフィックス無し、IT 业务详情图形が「S」、风险图が「R」、控制图形が「C」、IT 控制图形が「IC」となっています。

メモ表示設定

業務詳細、リスク、コントロールの図形に入力した「内容」を「メモ」に自動登録することができます。「メモ」に登録された内容は、それぞれ該当の図形上にカーソルを合わせると「内容」がポップアップ表示されます。これにより、ダイアログ表示機能を持たない他ファイル形式に出力された図表（WEB ページ出力、PDF 出力、WEB Central）においても、登録された「内容」をポップアップ表示で確認できるようになります。

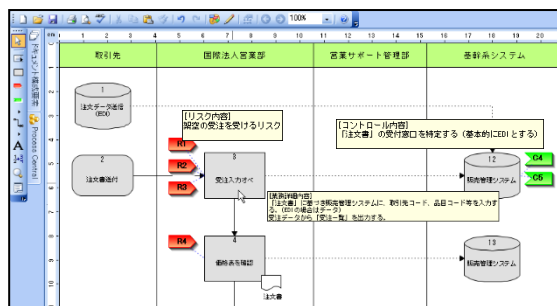
メモ表示機能を使用するには、「在注解上登録業務详情内容」を選択します。



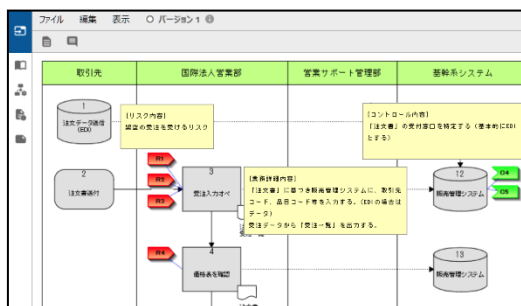
※iGrafx 上では、メモ表示をオフにすることもできます。

「视图」メニューの「注解工具提示」をクリックすると表示、非表示が切り替わります。

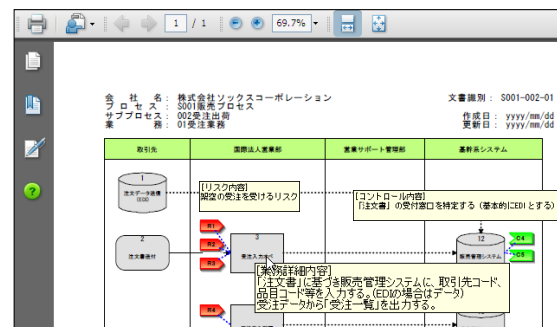
■iGrafx 画面



■WEB 画面



■PDF 画面



図形ナンバーゼロ埋め表示設定

業務詳細図形、リスク図形、コントロール図形のナンバーをゼロ埋めして表示することができます。

ナンバーは 2 桁表示から 4 桁表示の間で選択できます。

例) ゼロ埋めして 2 桁で表示する場合

The diagram illustrates three scenarios for zero-padding numbers in SOX+ forms:

- Scenario 1:** A simple box containing the number '01'.
- Scenario 2:** A red arrow labeled 'R01' points to a form. The form has a '業務詳細' (Business Details) section and a '分類番号' (Classification Number) field containing 'R' and '01'.
- Scenario 3:** A green arrow labeled 'C01' points to a form. The form has a '業務詳細' (Business Details) section and a '制御内容' (Control Content) field containing 'C' and '01'.

各図形のナンバーをゼロ埋めで表示させる場合「ナンバーをゼロ埋め表示する」にチェックを入れ、表示させたい桁数を入力します。(2 から 4 の数字)

The screenshot shows the '设置SOX+图形・编号' (Settings SOX+ Form/Number) window. The '号码显示设置' (Number Display Settings) tab is selected. The settings are as follows:

图形类型	零填充的显示屏 (是否)	位数
业务详情图形	<input checked="" type="checkbox"/>	2
风险图形	<input checked="" type="checkbox"/>	2
控制图形	<input checked="" type="checkbox"/>	4

設定されたゼロ埋め表示のナンバーは、出力する帳票にも反映されます。

リスク図形 ナンバー表示設定

リスク编号の代わりに、リスク分类编号を表示することができます。

例) リスクが下图の内容の場合

R	1	分类编号	A-10	词典
风险内容				
接到虚构订单的风险				

「显示风险编号(初始设置)」

リスク図形には下右図のようにリスク编号が表示されます。

常规	业务详情图形	风险图形	控制图形
风险图形 编号设置			
<input checked="" type="radio"/> 显示风险编号(初始设置)			
<input type="radio"/> 显示风险分类编号			



「显示风险分类编号」

リスク図形には下右図のようにリスク分类编号が表示されます。

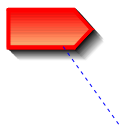
常规	业务详情图形	风险图形	控制图形
风险图形 编号设置			
<input type="radio"/> 显示风险编号(初始设置)			
<input checked="" type="radio"/> 显示风险分类编号			



番号なしのリスク

リスク分类编号の表示を設定している場合、配置直後のリスク図形はリスク分类编号が未入力のため、空白のまま配置されます。

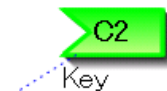
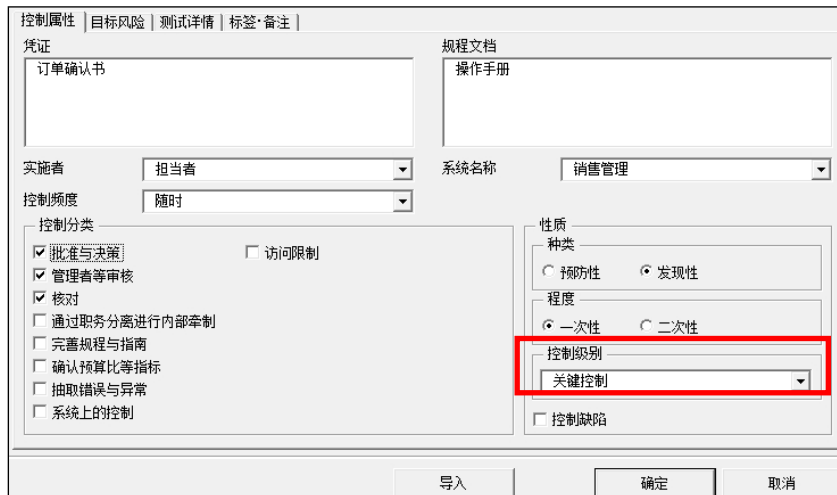
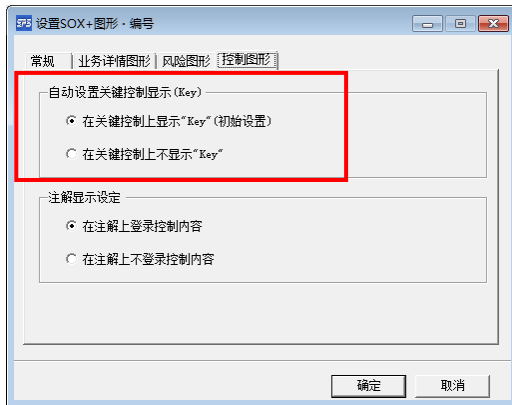
リスクダイアログボックスでリスク分类编号を手入力するか、リスク词典からリスクを選択すると、登録されたリスク分类编号が表示されます。



キーコントロール文字(Key)の自動表示切替

初期設定では、コントロール図形の「控制级」で「关键控制」を選択すると、コントロール図形の左下に「Key」と表示されます。

「Key」の文字を業務フローチャート上に表示したくない場合、「自动设置关键控制显示(Key)」を使用します。



旧バージョンの配布ファイルを読み込んだ場合

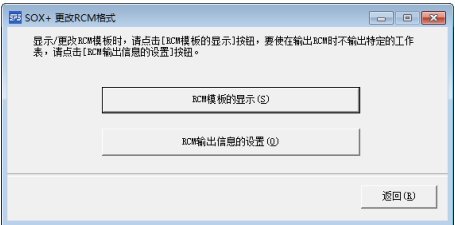
この機能がないバージョンの配布ファイルを読み込んだ場合、「在关键控制上不显示“Key”」にチェックが切り替わりますので、この機能が必要な場合は「在关键控制上显示“Key”(初始设置)」にチェックをしてください

※ 「RCM データ出力位置の変更」 P53 参照



RCMフォーマットの変更

RCM テンプレート（SOxMatrix.xlsx）を表示します。RCM 出力時に特定のシートを表示しないようにする場合は、「RCM 输出信息的设置」で制限することができます。



RCMテンプレートの表示

RCM テンプレート（文档信息シート、业务描述シート、RCM シート）を編集します。ここでは主に列項目の表示、非表示やデータ行の書式や表示形式の変更を行います。RCM テンプレートに必要な列項目はすべて用意しています。必要に合わせて表示、非表示でフォーマットを整えてください。
列の追加と削除は行わないでください。

初期設定時に非表示になっている列項目はグレーの色が付いています。

【初期設定の列項目】

1	17	18	19	23	24
文档识别码	No	业务详情名称	业务详情内容	部门	实施者

「业务描述」シート

1	13	14	20	22	24	38	39	40	41	42	43	70	82	83
风 险														
文档识别码	No	业务详情名称	No	范畴	风险内容	风险的审计要点						文档识别码	No	业务详情名称
						真实性	完整性	权利与义务的归属	估计的适当性	分摊的适当性	表达和披露的适当性			

「RCM」シート

【すべての列項目を表示】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
文档识别码	公司名称	事业基地	ID	流程名称	ID	子流程名称	ID	业务名称	会计科目

「业务描述」シート

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
文档识别码	公司名称	事业基地	ID	流程名称	ID	子流程名称	ID	业务名称	会计科目	阶段	业务详情 ObjectID	No	业务详情名称	业务详情 会计科目	部门 (完整名称)	部门	用于编号 序

「RCM」シート

図形に登録した値とExcelに出力される値の関係

SOX+の「RCM 輸出」を実行すると、SOX+図形に入力した各データは、RCM テンプレートの決まった列にそれぞれ出力されます。

例えば、リスク図形の「审计要点」にチェックした内容は、一つ目のチェックボックスは RCM シートの第 38 (AL) 列に、二つ目のチェックボックスは第 39 (AM) 列に…というように、第 51 (AY) 列まで順に出力されます。

そのため、RCM テンプレートを編集する際は、**見出しと出力内容がずれないように注意してください。**

(列の削除・挿入は行わないでください。)

37	38	39	40	41	42
风险的审计要点					
真实性	完整性	权利与义务的归属	估价的妥当性	分摊的适当性	表达和披露的妥当性
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

前の列を削除した結果、見出しがずれています。

文档信息シートの変更

見出し文字、セルの書式設定（枠罫線・フォント設定含）や背景色を変更できます。

	1	2	3	
1		文档识别码	S001-002-01	
2				
3				
4				
5		【公司信息・流程信息】		
6		公司名称	株式会社SOX	
7		事业基地	东京营业所	
8			I D	
9		流程	S001	销售
10		子流程	002	订单
11		业务	01	
12				
13				
14		【业务流程概要・业务流程属性】		
15				

不要な項目は、行を非表示にして隠すか、フォントの色を背景と同色にします。

データが出力されるセル以外は、自由に記述可能です。

データが出力されるセルも、フォントや罫線などの書式変更は可能です。

业务描述シート・RCMシートの変更

① ヘッダー部

見出しです。内容も書式も自由に変更できます。非表示にすることもできます。

1	13	14	20	23
風 險				
文档识别码	No	业务详情名称	No	风险内容

①

②

② データ部

セルの書式設定（フォント設定含）や背景色を変更できます。

注意点は以下の2点です。

- 行の高さを変更した場合は、最後に Excel の「格式」メニューの「行」の「最适合的行高」で高さが自動で変わるようにしておいてください。
- 「设置单元格格式」の「数字」は「常规」にしておいてください。
「文本」は1セルに256文字以上の文字が出力されると正常に表示されません。

データ項目数の変更に伴うRCMヘッダーの修正

「更改項目名称・数据列表」でチェックボックスタイプやラジオボタンタイプのデータリストを変更していた場合は、必要に応じ、业务描述・RCM シートの見出しの変更、表示列の表示・非表示の定義を変更する必要があります。

例) 5 項目の审计要点に「表达和披露的妥当性」を追加し 6 項目に変更した場合

上記変更の結果、风险ダイアログボックスは以下のようになります。

チェックボックスの項目数変更に伴い、RCM シートの修正を行います。

	38	39	40	41	42	70	82	83
	风险的审计要点							
	真实性	完整性	权利与义务的归属	估价的妥当性	分摊的妥当性	文档识别码	No	业务详情名称

印刷ヘッダーの編集

RCM テンプレートの印刷ヘッダーは、出力用変数を利用して SOX+の「文档信息」に登録した値を出力することができます。

出力用変数は、文档情報の項目に登録した値を印刷ヘッダーに出力できるように用意したものです。
文档情報の項目すべての出力用変数を用意しています。

※AdministratorKit で文档情報の項目名を変更した場合は、その名前と読み替えてください。

文档情報の項目	出力用変数	文档情報の項目	出力用変数
文档识别码	%DiagramID%	负责人	%ManagerName%
公司名称	%CompanyName%	担当者	%StaffName%
事业基地	%BusinessPlace%	版本	%Version%
流程编号	%ProcessNo%	状态	%Status%
流程名称	%ProcessName%	创建者	%CreateStaff%
子流程编号	%SubProcessNo%	创建日期	%CreateDate%
子流程名称	%SubProcessName%	最终更新者	%LastModifyStaff%
业务编号	%DiagramNo%	最终更新日期	%LastModifyDate%
业务名称	%DiagramName%	最终批准者	%ApprovalStaff%
会计科目	%Account%	最终批准日期	%ApprovalDate%
系统名称	%SystemName%	概要	%Summary%
使用账簿凭证	%Document%	补充说明	%SupplementalRemarks%
规程文档	%Regulations%	备注	%Remarks%
部门	%SectionName%		

出力用変数は、「RCM」シートの印刷ヘッダー「左」と「右」のみに設定します。

この設定情報を SOX+の RCM 出力時に読込み、SOX+画面でアクティブ（最前面）になっている文書の「文档信息」の対応する値に置き換えられ、「业务描述」「RCM」シートの「左」「右」の印刷ヘッダーに出力します。

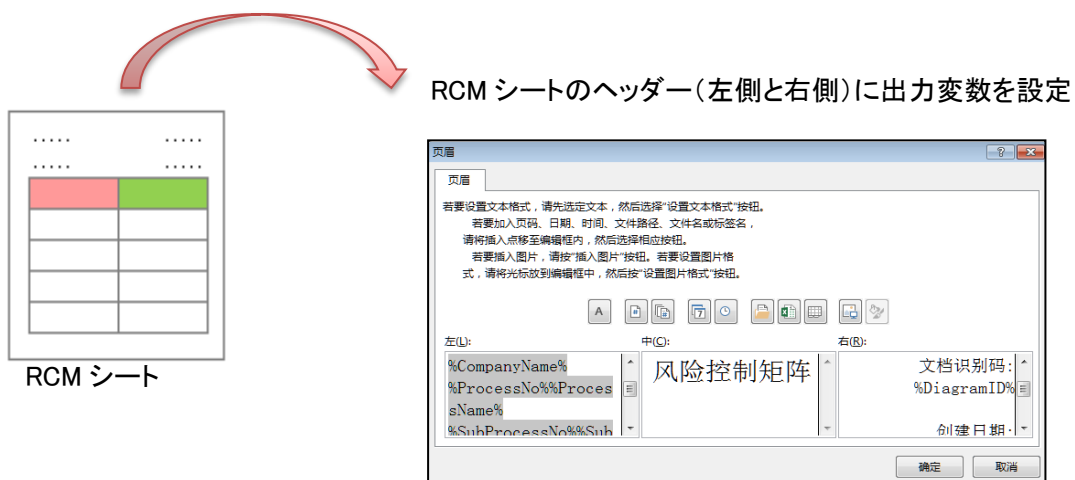
印刷ヘッダーの設定時に RCM シートが表示されていない場合は、「RCM 输出信息的设置」で表示させてください。

1. 出力用変数の設定

RCMシートの「页面设置」を開き、「自定义页眉」ボタンをクリックします。

左と右に出力用変数を設定します。

中は「タイトル」です。タイトルのみ、シートごとに入力します。



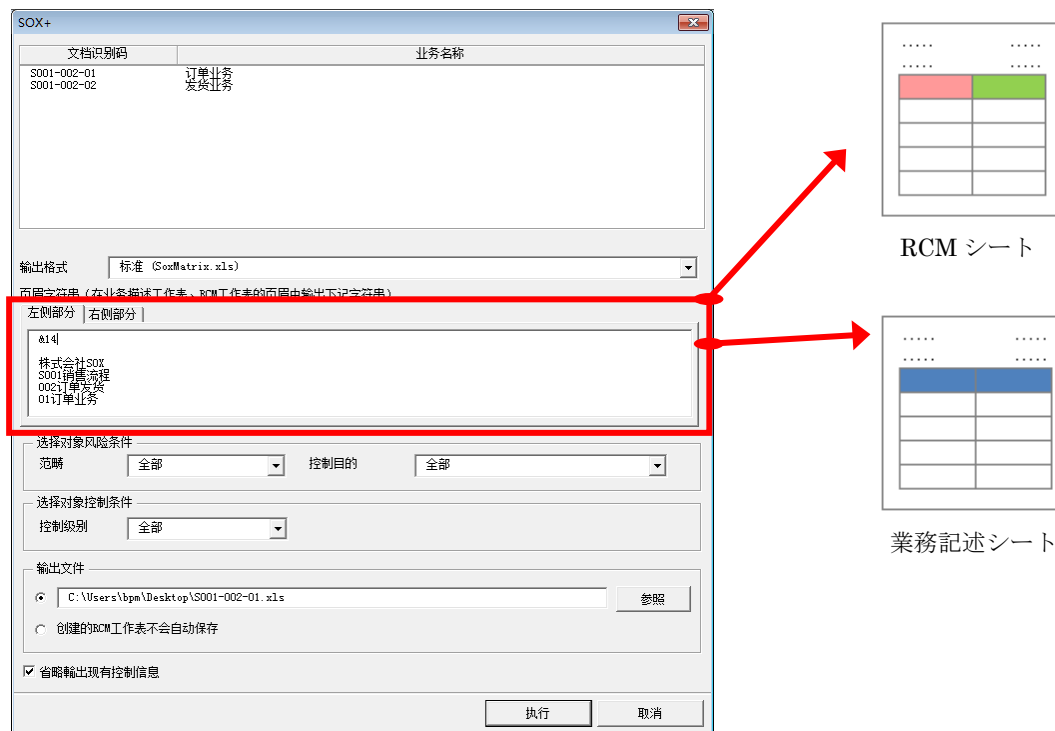
初期設定のヘッダー定義は以下の通りです。

ヘッダー部位	設定内容
左	%CompanyName% %ProcessNo%%ProcessName% %SubProcessNo%%SubProcessName% %DiagramNo%%DiagramName%
中 「固定」	风险控制矩阵
右	文档识别码: %DiagramID% 创建日期: %CreateDate% 更新日期: %LastModifyDate%

通常、Excel のヘッダーには 250 文字程度しか文字が入りません。印刷ヘッダーに入力する文字数と、出力用変数から変換される文字数を考慮して、出力用変数を設定してください。

2. RCM輸出

RCM シートの印刷ヘッダーに登録した出力用変数は、業務フローチャートを RCM 輸出する際に読み込まれ、出力用変数に対応する文档情報の値に変換されます。
変換されたヘッダー情報は、「业务描述」「RCM」シートの印刷ヘッダーに出力されます。

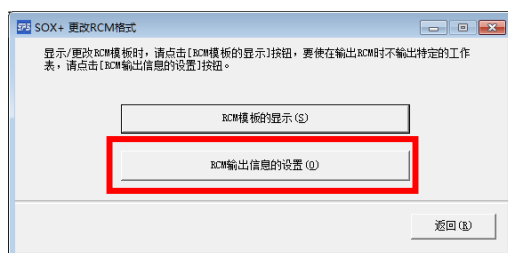


RCMテンプレートの保存

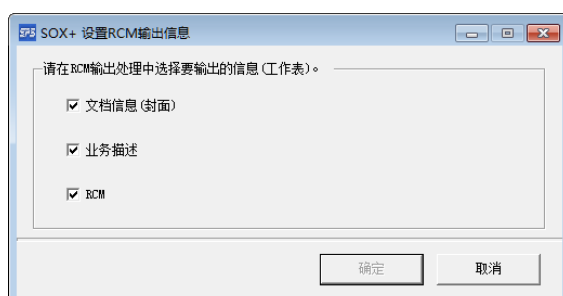
必要な編集が終わったら、RCM テンプレートを**上書保存**して Excel を閉じます。

RCM出力情報の設定

「RCM 输出信息的设置」を選択すると、RCM 出力時の表示シートを限定することができます。



「文档信息(封面)」、「业务描述」、「RCM」、の3項目が表示されますので、RCM 出力時に必要のないシートは、チェックをはずしてシートを非表示にします。



RCMデータ出力位置の変更

業務描述一覧・RCM の列項目の表示・非表示の指定、そして並び順やデータのソート順を設定することができます。

データ出力位置の変更をする前に

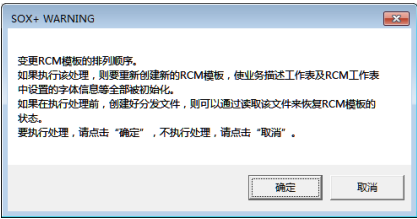
- 配布ファイルを作成しておく、いつでも「分发文件创建履历」機能より元の状態に戻すことができます。
- RCM テンプレートを開き、別名で保存しておきます。「更改数据输出位置」で新しく作られるテンプレートは書式などが全て初期化されていますので、編集の参考になるものがあると便利です。

1	13	14	20	22	24	38	39
文档信息	业务详情		风险				
文档识别码	No	业务详情名称	No	范畴	风险内容	风险的审计要点1	
文档识别码	业务No	业务详情名称	风险No	范畴	风险内容	风险的审计要点1	风险的审计要点2

初期化された RCM テンプレート

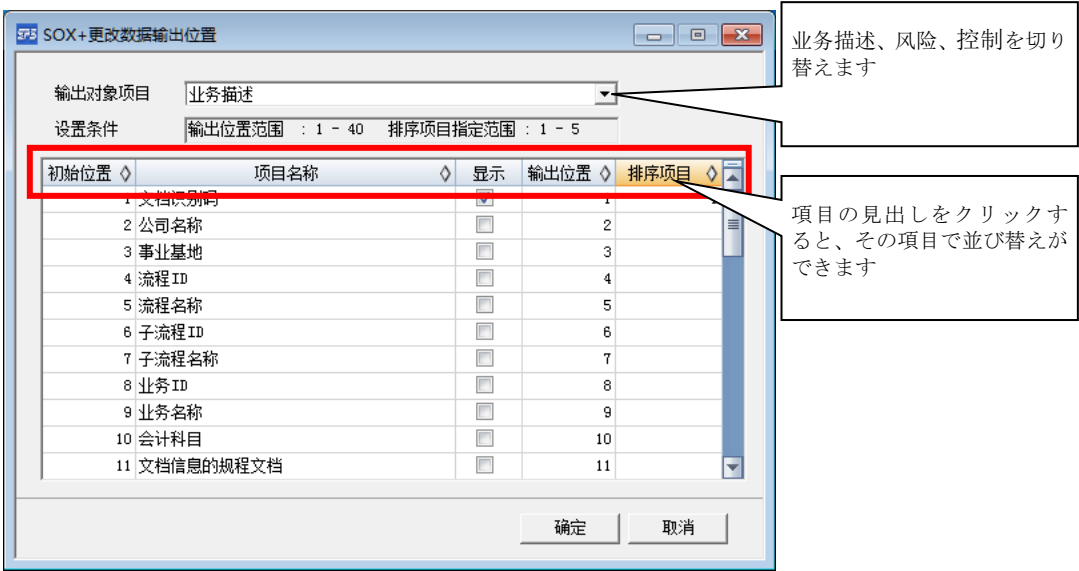
最初の警告メッセージ

「更改数据输出位置」ボタンをクリックすると、WARNING メッセージが表示されます。
データ出力位置変更を実行するとそれまで編集してきた RCM テンプレートは削除され、初期化された新しいテンプレートが作られます。これまでの RCM テンプレートを残したい場合は、事前に配布ファイルを作成する等行ってから本機能を実行してください。



RCMデータ出力位置の変更

出力対象項目を「業務描述」「风险」「控制」に切替えると、対象の項目が表示されます。
項目名は変更できません。項目名の変更は、この設定後に作成された RCM テンプレートで変更してください。



項目	説明
输出对象项目	編集対象を選択します。业务描述（业务描述シート）、风险（RCMシート左側のリスク部）、控制（RCMシート右側のコントロール部）の3箇所を編集可能です。
设置条件	選択した出力対象項目で、項目の出力位置として指定可能な範囲（列数）と、ソート項目として指定可能な項目数を表示しています。 RCMシートについてはリスク項目とコントロール項目が混在しないように、リスク領域とコントロール領域に分けて、それぞれの中での位置の変更を行います。 リスクは1-51列の範囲で、コントロールは51-133列の範囲内で変更します。
初始位置	項目の初期設定の出力位置を表示しています。 タイトル部をクリックするとこの順でソートされます。
项目名称	並び替えの対象となる項目名です。 最後に確定ボタンを押すと、この項目名が指定された順に並べられてRCMテンプレートが作成されます。 この項目名は固定です。既に「更改项目名称・数据列表」で名前を別のものに変更している場合は、作成されたテンプレートを修正してください。
显示	作成するRCMの列の表示・非表示を指定できます。 表示・非表示の切り替え自体は、「更改RCM格式」機能で後からいつでも変更できます。
输出位置	位置を変更したい項目を指定してダブルクリックし、順目の数字を入力することができます。入力後に自動で数字が詰められます。 タイトルをクリックするとソートできます。
排序项目	RCM出力時にソートキーとして使われる項目を指定できます。（昇順） 初期設定では出力情報は「文档识别码」で文書順に並び、次に文書の中では「図形ナンバー」順に並ぶように設定されています。通常は変更の必要はありません。

出力位置の編集時に、ある項目を n 番目と m 番目の項目の間に移動したい場合は、近い方の数字を入力します。

例えば 8 番の項目を 10 と 11 の間に移動したい場合は、8 番目の項目の出力位置を「10」に変更します。それに伴い、初期位置 9 番目の項目が 8 へ、10 番目の項目が 9 へと自動的に繰り上がります。

初始位置	项目名称	显示	输出位置	排序项目
1	文档识别码	<input checked="" type="checkbox"/>	1	1
2	公司名称	<input type="checkbox"/>	2	
3	事业基地	<input type="checkbox"/>	3	
4	流程ID	<input type="checkbox"/>	4	
5	流程名称	<input type="checkbox"/>	5	
6	子流程ID	<input type="checkbox"/>	6	
7	子流程名称	<input type="checkbox"/>	7	
8	业务ID	<input type="checkbox"/>	8	
9	业务名称	<input type="checkbox"/>	9	
10	会计科目	<input type="checkbox"/>	10	
11	文档信息的规程文档	<input type="checkbox"/>	11	

➡

初始位置	项目名称	显示	输出位置	排序项目
1	文档识别码	<input checked="" type="checkbox"/>	1	1
2	公司名称	<input type="checkbox"/>	2	
3	事业基地	<input type="checkbox"/>	3	
4	流程ID	<input type="checkbox"/>	4	
5	流程名称	<input type="checkbox"/>	5	
6	子流程ID	<input type="checkbox"/>	6	
7	子流程名称	<input type="checkbox"/>	7	
8	业务ID	<input type="checkbox"/>	10	
9	业务名称	<input type="checkbox"/>	8	
10	会计科目	<input type="checkbox"/>	9	
11	文档信息的规程文档	<input type="checkbox"/>	11	

17 番の項目を 10 と 11 の間に移動したい場合は、近い数字の「11」を入力します。初期設定値 11 番目から 16 番目の項目の位置が 1 つずつ繰り下がります。

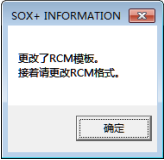
初始位置	项目名称	显示	输出位置	排序项目
9	业务名称	<input type="checkbox"/>	9	
10	会计科目	<input type="checkbox"/>	10	
11	文档信息的规程文档	<input type="checkbox"/>	11	
12	文档信息的使用账簿凭证	<input type="checkbox"/>	12	
13	文档信息的系统名称	<input type="checkbox"/>	13	
14	阶段	<input type="checkbox"/>	14	
15	用于业务编号排序	<input type="checkbox"/>	15	2
16	业务详情 ObjectID	<input type="checkbox"/>	16	
17	业务详情No	<input checked="" type="checkbox"/>	17	
18	业务详情名称	<input checked="" type="checkbox"/>	18	
19	业务详情内容	<input checked="" type="checkbox"/>	19	

➡

初始位置	项目名称	显示	输出位置	排序项目
9	业务名称	<input type="checkbox"/>	8	
10	会计科目	<input type="checkbox"/>	10	
11	文档信息的规程文档	<input type="checkbox"/>	12	
12	文档信息的使用账簿凭证	<input type="checkbox"/>	13	
13	文档信息的系统名称	<input type="checkbox"/>	14	
14	阶段	<input type="checkbox"/>	15	
15	用于业务编号排序	<input type="checkbox"/>	16	2
16	业务详情 ObjectID	<input type="checkbox"/>	17	
17	业务详情No	<input checked="" type="checkbox"/>	11	
18	业务详情名称	<input checked="" type="checkbox"/>	18	
19	业务详情内容	<input checked="" type="checkbox"/>	19	

でき上がり予定の順番をあらかじめ計画してから変更を実行すると、効率よく変更することができます。

変更したい項目の指定が済んだら、「確定」ボタンを押して RCM テンプレートを生成します。



完了のメッセージが出たら、AdministratorKit のメニューから「RCM 模板的显示」を選んで、新しい RCM テンプレートを開いてください。

1	13	14	20	22	24	38	39	40	41	42	43	70	82
文档信息	业务详情					风险						文档信息	业务
文档识别码	No	业务详情名称	No	范畴	风险内容	风险的审计要点1	风险的审计要点2	风险的审计要点3	风险的审计要点4	风险的审计要点5	风险的审计要点6	文档识别码	No
文档识别码	业务No	业务详情名称	风险No	范畴	风险内容	风险的审计要点1	风险的审计要点2	风险的审计要点3	风险的审计要点4	风险的审计要点5	风险的审计要点6	文档识别码	业务No

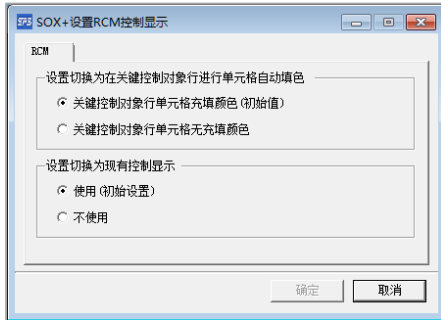
1	13	14	20	22	24	38	39	40	41	42	43	70	82	83
						风	险							
文档识别码	No	业务详情名称	No	范畴	风险内容	风险的审计要点	风险的审计要点	风险的审计要点	风险的审计要点	风险的审计要点	风险的审计要点	文档识别码	No	业务详情名称
文档识别码	No	业务详情名称	No	范畴	风险内容	风险的审计要点	风险的审计要点	风险的审计要点	风险的审计要点	风险的审计要点	风险的审计要点	文档识别码	No	业务详情名称

事前に別名で保存していた元の RCM テンプレートなどを参考にしながら、項目名、列の表示・非表示や列幅の設定・フォントの書式やセルの背景色などの書式を整えてください。

※書式編集の詳細は、RCM フォーマットの変更(P45)を参照してください。

RCMコントロール表示設定

RCM テンプレートのコントロール表示の設定を変更することができます。



キーコントロール対象行へのセル色自動変更の設定切替

SOX+の初期設定では、制御の「制御级别」項目に「关键控制」が設定されていると、RCM 出力時に RCM シートの「关键控制」の行を「青」にして出力します。

ここでは、この機能の ON/OFF を選択できます。

既出コントロール非表示切替機能

RCM 出力時の「対象文档选择」ダイアログボックスの「省略輸出现有控制信息」チェックボックス表示（初期設定）を非表示にすることができます。

SOX+

文档识别码

业务名称

S001-002-01
S001-002-02

订单业务
发货业务

输出格式

标准 (S00Matrix.xls)

页眉字符串 (在业务描述工作表、RCM工作表的页眉中输出下记字符串)

左侧部分 | 右侧部分 |

&14
株式会社SOX
SOX销售系统
002订单业务
01订单业务

选择对象风险条件

范围

全部

控制目的

全部

选择对象控制条件

控制级别

全部

输出文件

C:\Users\bgm\Desktop\S001-002-01.xls

参照

创建RCM工作表不会自动保存

☒ 省略輸出现有控制信息

执行

取消

RCM シートでは、左側にリスク、右側に各リスクをターゲットとしているコントロールが並びます。

コントロールが複数のリスクをターゲットとしている場合、リスクの数だけ同一内容のコントロールが繰り返し出力されます。

No	风险内容	风险的审计要点				文档识别码	No	业务详细名称	No	控制内容
		真实性	权利与义务的关系	估计的适当性	分拆的适当性					
R1	接到虚构订单的风险	○	○			S001-002-01	7	输出订单确认书	C1	输出订单确认书，确认订单内容。
						S001-002-01	8	批准	C2	负责审查订单一致的内容(单价、信用额度、品种等)并予以批准。
						S001-002-01	12	销售管理系统	C4	指定专门受理订单的部门(原则上指定SD1)
						S001-002-01	12	销售管理系统	C5	订单输入时只能利用主数据文件中登录的信息。
						S001-002-01	14	信用管理系统	C6	设定对数据与主数据文件的访问权限。(主数据文件由信息系统管理)
						S001-002-01	16	销售管理系统	C7	订单一致与订单确认书通过自动配号以连续编号进行管理。
R2	因订单数据出现错误导致接到订单，以至丧失了销售机会的风险	○				S001-002-01	12	销售管理系统	C4	指定专门受理订单的部门(原则上指定SD1)
R3	因订单输入错误，使订单接受、出货处理与订单内容产生不符的风险	○	○			S001-002-01	8	批准	C2	负责审查订单一致的内容(单价、信用额度、品种等)并予以批准。
						S001-002-01	12	销售管理系统	C5	订单输入时只能利用主数据文件中登录的信息。
R4	以错误的单价接受订单的风险	○	○			S001-002-01	7	输出订单确认书	C1	输出订单确认书，确认订单内容。
						S001-002-01	8	批准	C2	负责审查订单一致的内容(单价、信用额度、品种等)并予以批准。

例) C2が複数リスクをターゲットとしている場合のRCM

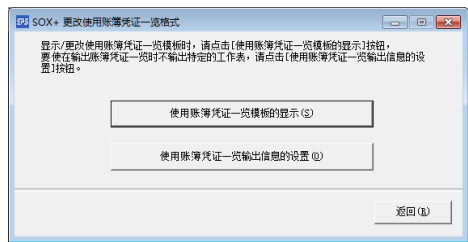
RCM 出力の際に「省略輸出現有制御情報」にチェックを入れると、既出コントロールの文書識別と No のみ表示させ、他の項目は非表示になります。

20	24	38	39	40	41	42	43	70	82	83	86	88
風 險												
评价	No	风险的审查要点					文档识别码	No	业务详情名称	No	控制内容	
		真实性	完整性	权利与义务的归属	评价的适当性	表达和披露的适当性						
R1	接到虚构订单的风险	○	○				S001-002-01	7	输出订单确认书	C1	输出订单确认书，确认订单内容。	
							S001-002-01	8	批准	C2	负责审查订单一览的内容(单价、信用额度、品种等)并予以批准。	
							S001-002-01	12	销售管理系统	C4	指定专门受理订单的部门(原则上指定BDI)	
							S001-002-01	12	销售管理系统	C5	订单输入时只能利用主数据文件中登录的信息。	
							S001-002-01	14	信用管理系统	C6	设置对数据与主数据文件的访问权限。(主数据文件由信息系统管理)	
							S001-002-01	16	销售管理系统	C7	订单一览与订单确认书通过自动配号以连续编号进行管理。	
R2	因订单数据出现错误没能接到订单，以至丧失了销售机会的	○	○				S001-002-01			C4		
R3	因订单输入错误，使订单接受、出货处理与订单内容产生不符的风险						S001-002-01			C2		
							S001-002-01			C2		
							S001-002-01			C2		
R4	以错误的单价接受订单的风险	○	○				S001-002-01			C1		
							S001-002-01			C2		

例)「省略輸出現有制御情報」機能を使用して出力したRCM

帳票一覧フォーマットの変更

帳票一覧テンプレート (DocumentList.xlsx) を表示します。使用帳票／証憑一覧出力時に特定のシートを表示しないようにする場合は、「使用帳簿凭证一覧输出信息的设置」で制限することができます。



帳票一覧テンプレートの表示

帳票一覧テンプレート (使用账簿凭证一览表シートと凭证一览表シート) を編集します。ここでは主に列項目の表示、非表示やデータ行の書式や表示形式の変更を行います。帳票一覧テンプレートに必要な列項目はすべて用意しています。必要に合わせて表示、非表示でフォーマットを整えてください。
列の追加と削除は行わないでください。

初期設定時に非表示になっている列項目はグレーの色が付いています。

※詳細については RCM フォーマットの変更 P45 をご覧ください。

【初期設定の列項目】

1	12	15	16	20	21
文档识别码	使用账簿凭证	No	业务详情名称	部门	实施者

「使用账簿凭证一览」シート

1	11	14	15	18	21	22	25	26	45
文档识别码	凭证	No	业务详情名称	控制 No	控制类型	控制频度	部门	实施者	控制级别

「凭证一览」シート

【すべての列項目を表示】

1	2	3	4	5	6	7	8	9
文档识别码	公司名称	事业基地	ID	流程名称	ID	子流程名称	ID	业务名称

「使用账簿凭证一览」シート

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
文档识别码	公司名称	事业基地	ID	流程名称	ID	子流程名称	ID	业务名称	会计科目	凭证

「凭证一览」シート

使用账簿凭证一览シート・凭证一覧シートの変更

① ヘッダー部

見出しです。内容も書式も自由に変更できます。非表示にすることもできます。

1	11	14	15	18	21
文档识别码	凭证	No	业务详情名称	控制 No	控制类型

①
②

② データ部

セルの書式設定（フォント設定含）や背景色を変更できます。

注意点は以下の2点です。

- ・ 行の高さを変更した場合は、最後に Excel の「格式」メニューの「行」の「最适合的行高」で高さが自動で変わるようにしておいてください。
- ・ 「设置单元格格式」の「数字」は「常规」にしておいてください。
「文本」は1セルに256文字以上の文字が出力されると正常に表示されません。

印刷ヘッダーの編集

出力用変数は、「凭证一览」シートの印刷ヘッダー「左」と「右」のみに設定します。

この設定情報を SOX+の使用帳票／証憑一覧出力時に読み込み、SOX+画面でアクティブ（最前面）になっている文書の「文档信息」の対応する値に置き換えられ、「使用账簿凭证一览」「凭证一览」シートの「左」と「右」の印刷ヘッダーに出力します。

印刷ヘッダーの編集方法は、RCM テンプレートの印刷ヘッダー設定と同じです。

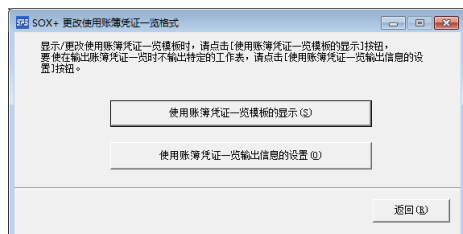
※詳細については、印刷ヘッダーの編集(P50)をご覧ください。

帳票一覧テンプレートの保存

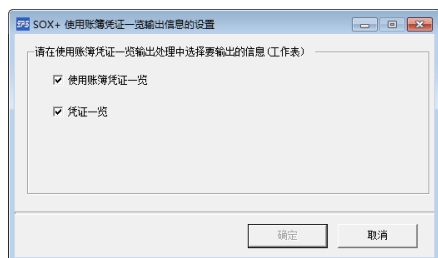
必要な編集が終わったら、帳票一覧テンプレートを上書保存して Excel を閉じます。

帳票一覧出力情報の設定

「使用帳簿凭证一覧输出信息的设置」を選択すると、使用帳票／証憑一覧出力時の表示シートを限定することができます。



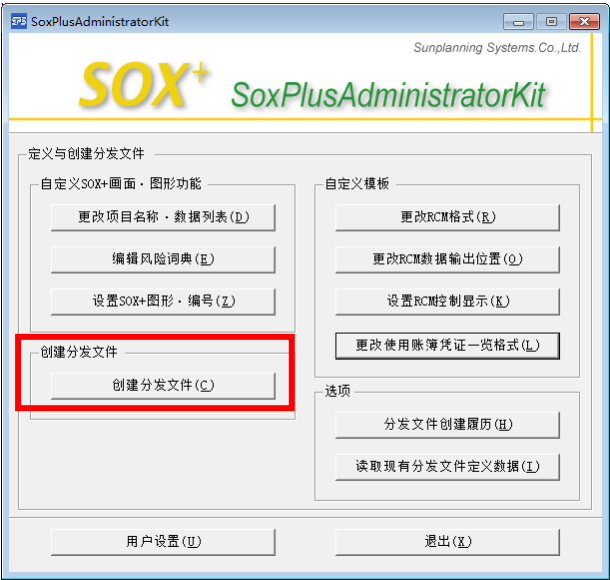
「使用帐簿凭证一览」、「凭证一览」の 2 項目が表示されますので、使用帳票／証憑一覧出力時に必要のないシートは、チェックをはずしてシートを非表示にします。



第5章 配布ファイル作成

AdministratorKit でカスタマイズした設定内容を SOX+に反映させるための配布ファイルを作成します。

作成した配布ファイルをクライアント PC に取込む方法については「SOX+ユーザーズガイド（第 4 章分发文件导入功能）」をご覧ください。



AdministratorKit で項目名や RCM フォーマットを変更しただけでは SOX+に反映されていません。
設定変更を行った場合は、忘れずに配布ファイルを作成してください。



内容	説明
创建者・注解	この配布ファイルの作成者情報、変更点や変更の際の注記などを入力します。 SOX+で配布ファイルを取り込んだときに表示されます。
保存位置（指定必須）	作成した配布ファイルの保存先とファイル名を指定します。
分发文件所要包含的收藏集文件和 iGrafx 模板文件(选项)	iGrafxで作成した、自社用の図形集やiGrafxドキュメントのひな形（テンプレート）を各クライアントPCに導入するために、配布ファイルに添付することができます。

※ AdministratorKit バージョン 6 より「配布先ユーザーのカスタマイズ定義データの取込位置の指定」機能が廃止になりました。作成した配布ファイルは自動的に「每个用户」設定で保存されます。

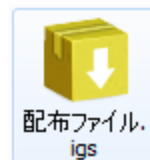
※ 同じ PC にインストールされた SOX+を、ユーザーを切り替えて複数人で使用している場合、それぞれのユーザーで配布ファイルの取り込みが必要です。

配布ファイルの設定項目

保存先

配布ファイルのファイル名と、保存先フォルダを指定します。

「参照」ボタンをクリックして、保存先を選択し、配布ファイルの名称を入力してください。配布ファイルの拡張子は「.igs」です。名前に「.」（ピリオド）が入ったファイル名をつけた場合は、拡張子が自動でつかない場合があります。その場合は、作成を実行する前に拡張子を手動で付けてください。



配布ファイルに同梱するコレクション・iGrafxテンプレートファイル

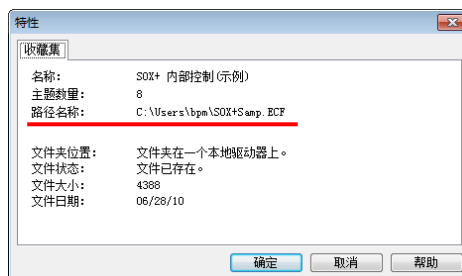
iGrafx FlowCharter で作成した図形集（コレクション）や iGrafx テンプレートを、配布ファイル作成時に同梱することができます。

SOX+で配布ファイルを取り込むと自動的に必要な保存場所に展開されます。

それぞれのファイルが保存される場所は、以下の通りです。

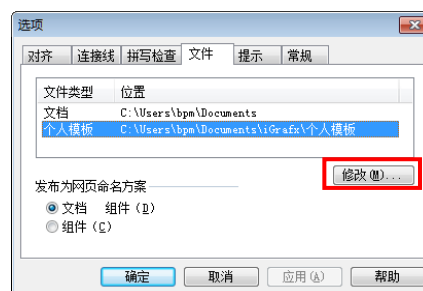
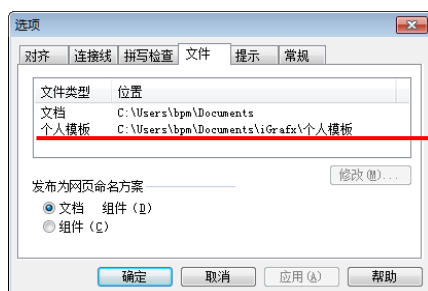
■図形集（コレクション）

個人用メディアコレクションの中に展開されます。iGrafx で「F9」を押して「選択図形调色板」ダイアログを表示します。表示された「選択図形调色板」ダイアログでフォルダを選択し、右クリックでプロパティを開きます。パスに記載された場所に保存されています。



■テンプレート

個人用テンプレートフォルダに展開されます。iGrafx の「工具」メニューの「选项」を開き「文件」タブを表示します。個人用テンプレートの保存場所は、「修改」ボタンで自由に変更することができます。



※配布ファイルを取り込むと、添付された*.ecf/*.*.sbj ファイル、*.igt ファイルは所定のフォルダに保存されます。(同名のファイルがあれば上書きします。)

間違って保存されたファイルや不要になったファイルができた場合は、ファイルを所定のフォルダから直接削除してください。

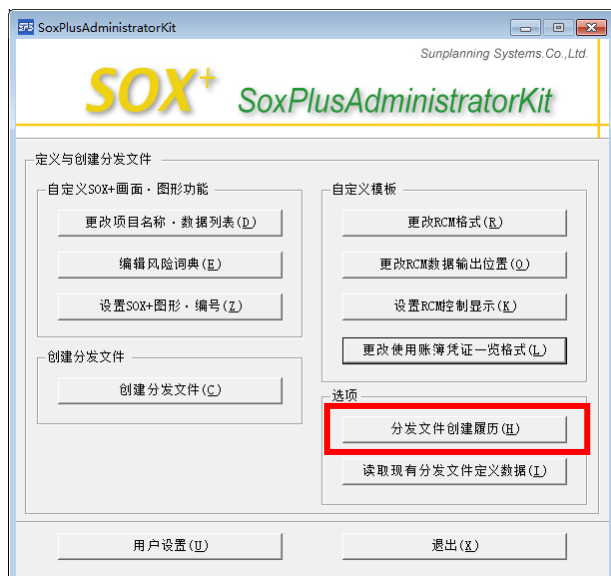
配布先ユーザーのカスタマイズ定義データの取込位置

各クライアント PC で配布ファイルの取込を実行すると、取り込んだ定義データは以下の場所に保存されます。配布ファイルの取り込みには、以下のフォルダが編集できる状態になっている必要があります。

C:\Users「ユーザー名」\AppData\Roaming\iGrafx\SOX_Plus

第6章 配布ファイルの履歴管理

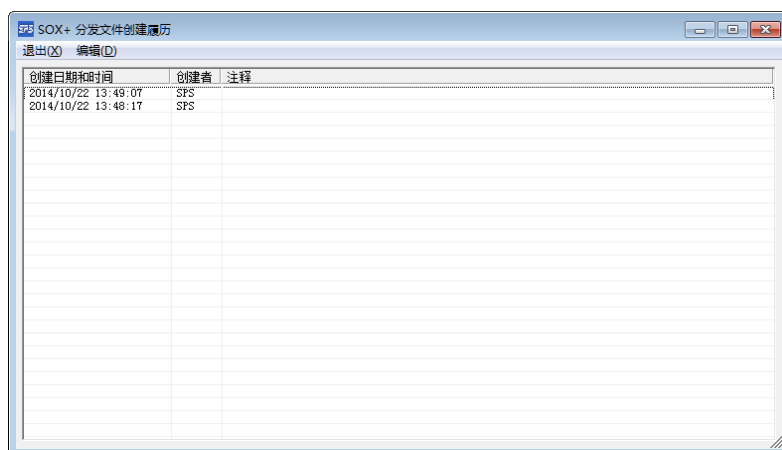
配布ファイルを作成した時点で履歴が更新されます。作成履歴の確認や、履歴から復元することができます。



配布ファイル作成履歴

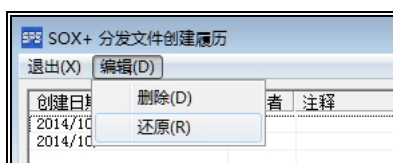
「分发文件创建履历」ボタンをクリックし「SOX+ 分发文件创建履历」ダイアログボックスを開きます。これまでに作成した配布ファイルの履歴を確認することができます。

ただし、確認できるのはユーザーがこのPCで作成したもののだけです。他のPCで作成したものや、別のユーザーが作成したものは確認できません。



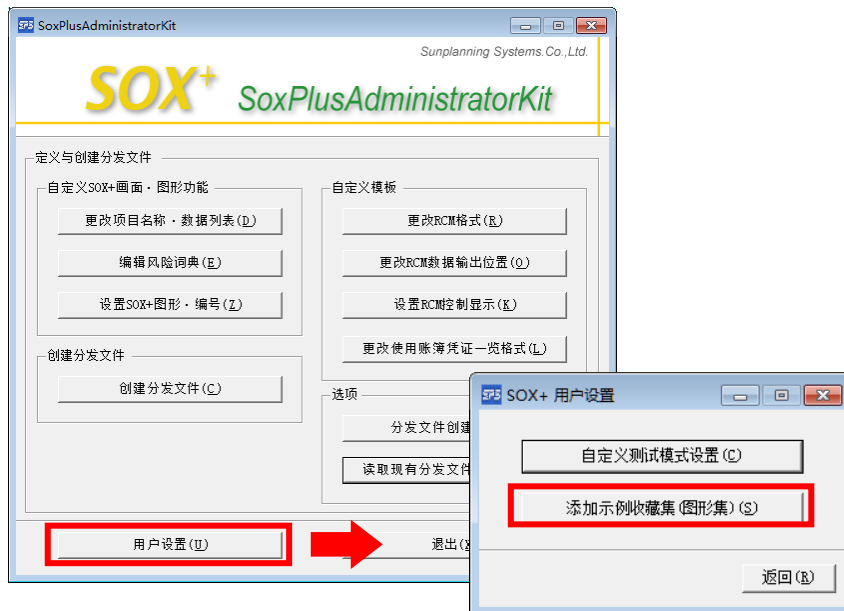
内容	説明
创建日期和时间	配布ファイルを作成した日時が表示されます。
创建者	配布ファイルの作成者が表示されます。
注释	配布ファイルのコメントが表示されます。

履歴を選択して、「編集」メニューから「还原」を選択すると、選択されている履歴の設定を読み込むことができます。確認を求められますので、確定ボタンをクリックすると、現在の設定が消去され、履歴の設定に置き換わります。



第7章 サンプル図形集

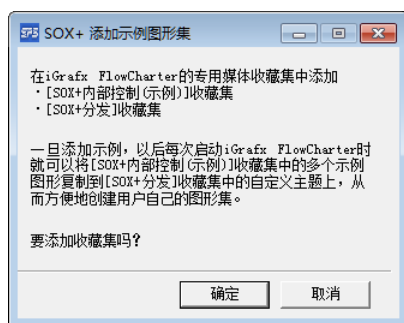
SOX+のインストール時に用意されている SOX+図形以外に SOX+のフロー作成で利用できる図形集を追加することができます。



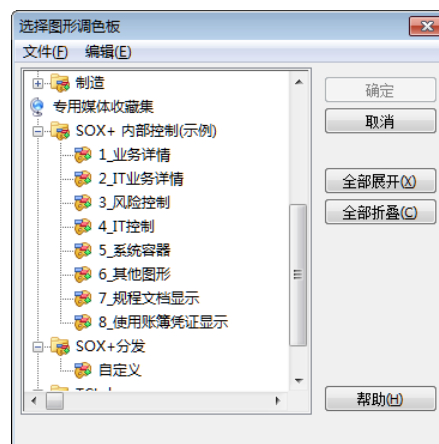
サンプルコレクション図形集の追加

図形集はフォルダとシートで構成されており、フォルダを「コレクション」、シートを「サブジェクト」と言います。ここでいう「コレクション」はサブジェクトも含めた総称を表します。

「添加示例收藏集(图形集)」ボタンをクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。「確定」ボタンをクリックします。



サンプルコレクションは、iGrafx FlowCharter の図形パレット（個人用メディアコレクション）に追加されます。追加されたサンプルコレクションの確認は、iGrafx FlowCharter を起動してください。



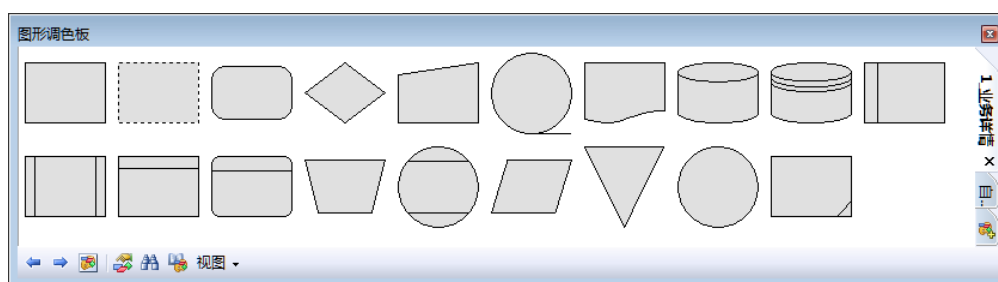
サンプルコレクションの紹介

サンプルコレクションの各サブジェクトに登録されているサンプル図形を紹介します。

【SOX+分発】コレクションの「自定义」サブジェクトは、図形集を作成するための空のシートです。自社用の図形集を作成する際にご利用ください。

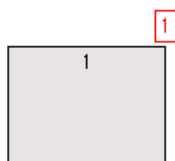
業務详情图形

業務详情ダイアログボックスを開くことのできる SOX+図形です。



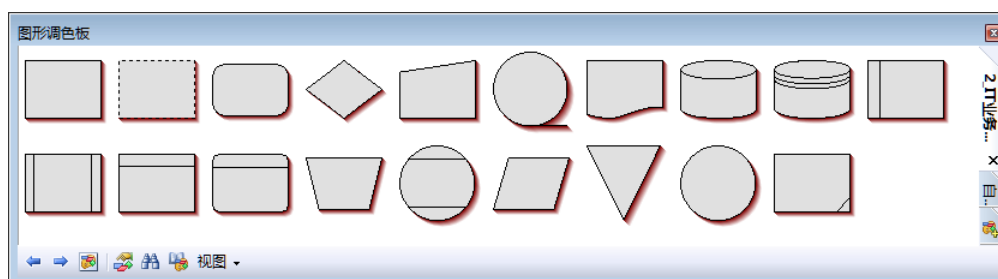
すべての図形の名称は、業務详情「_SOX+」と登録してあります。名前を変更したい場合は、「_SOX+」を消さないようにすれば、それより前の部位の変更が可能です。

図形番号を表示させたときに右上に枠付きの赤文字で表示されるよう設定されています。



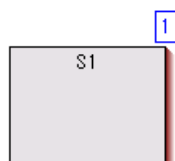
IT业务详情图形

IT 业务详情ダイアログボックスを開く事のできる SOX+図形です。



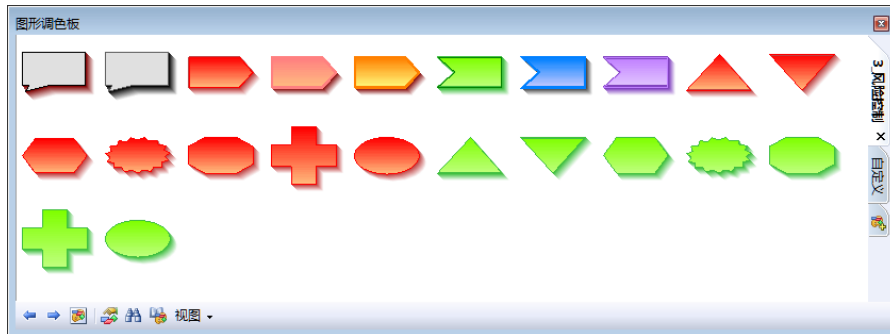
各図形の名称は、IT 业务详情「_SOX+AP」と登録してあります。名前を変更したい場合は、「_SOX+AP」を消さないようにすれば、それより前の部位の変更が可能です。

図形番号を表示させたときに右上に枠付きの青文字で表示されるよう設定されています。



风险・控制图形

风险・控制图形には、図形に添付する形の业务详情图形や、风险图形や控制图形の色違い、形違いのサンプルを用意しています。



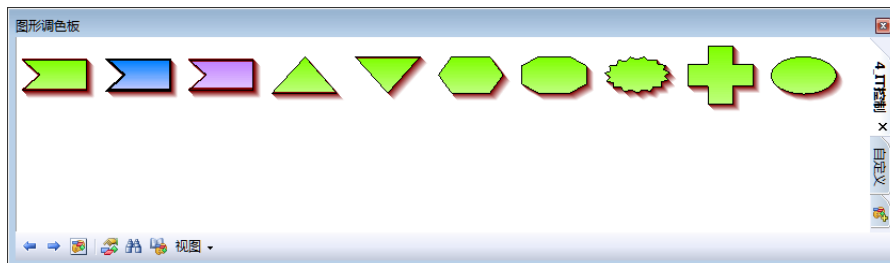
色や形の気に入った物をコピーして、自定义に貼り付けてすぐにご利用することができます。

名前を変更したい場合は、业务详情图形は[_SOX+A]、IT 业务详情图形は[_SOX+IA]、风险图形は[SOX+R]、控制图形は[SOX+C] を消さないようにすれば、それより前の部位の変更は可能です。

例) [SOX+C] を 手工控制 [SOX+C] に変更 など。

IT控制图形

IT 控制图形です。



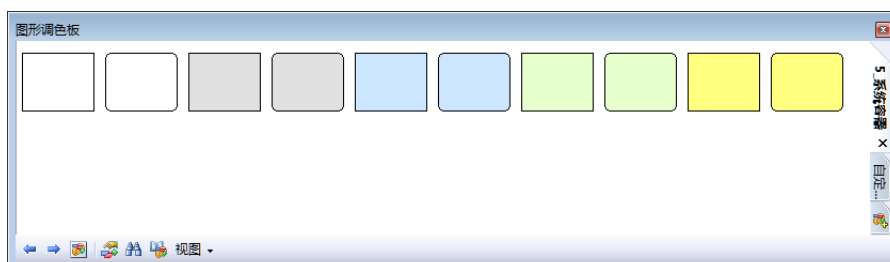
すべての図形の名称は、IT 控制 [SOX+IC] と登録してあります。色や形の気に入った物をコピーして、自定义に貼り付けてすぐにご利用することができます。

名前を変更したい場合は [SOX+IC] を消さなければ、それより前の部位の変更は可能です。

例) IT 控制 [SOX+IC] を IT 控制 [SOX+IC] に変更 など。

系统容器

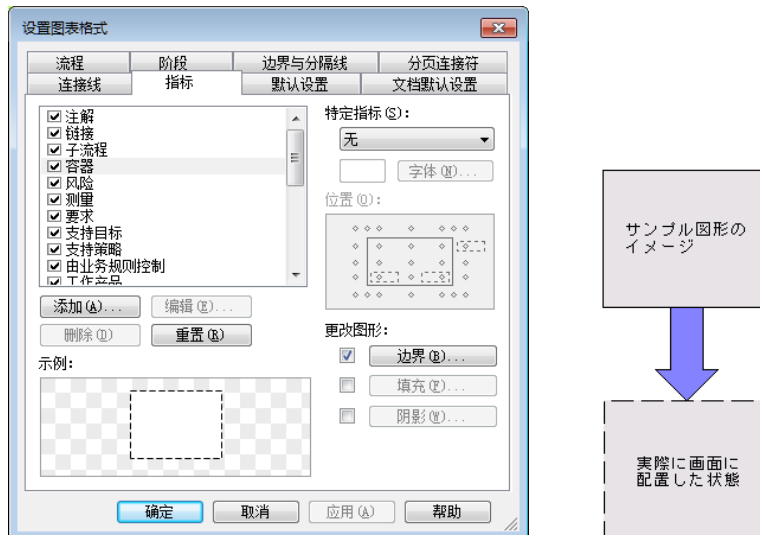
系统容器には、系统容器图形の色違い、形違いのサンプルを用意しています。



すべての図形の名称は、系統容器「_SOX+SC」と登録してあります。色や形の気に入った物をコピーして、自定义に貼り付けてすぐに利用することができます。

系統容器図形がフロー上に配置されると、ファイルに設定されている容器図形のインジケータの設定に合わせて書式が反映されます。

デフォルトの設定では、以下のインジケータが設定されています。



容器の指標に枠線の設定がされているので、画面上に配置するとサブジェクト上の図形イメージと違う設定で配置されます。

画面上に配置したときの表示を変更したい場合は、こちらでファイルの設定を変えてください。

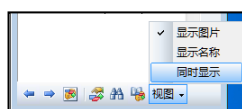
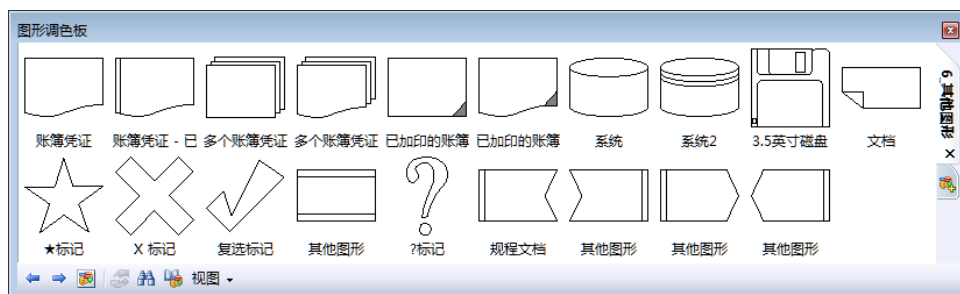
名前を変更したい場合は「_SOX+SC」を消さなければ、それより前の部位の変更は可能です。

其他图形

其他图形には、业务详情图形でも、风险图形でも、控制图形でもない、(SOX+ダイアログボックスの出ない) 通常の図形のサンプルを用意しています。

業務ではない説明用にフロー上に配置したい図形として利用することができます。

SOX+ダイアログボックスが表示される図形ではありませんので、フロー上に配置したときに、業務ナンバーは付きません。



参考) 上図だけ図形の名前も参考に表示しています。

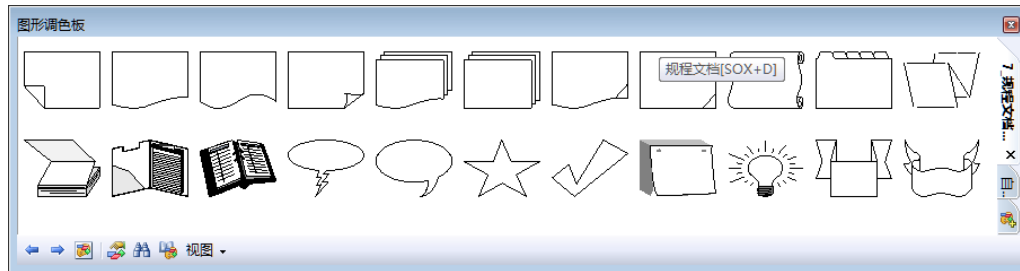
図形パレットの「视图」メニューより「同时显示」を選択すると上図のように表示されます。

図形の名称は、それぞれ該当するイメージの名称が付けられています。名前は自由に変更することができます。
形の気に入った物をコピーして、自定义に貼り付けてすぐに利用することができます。

规程文档显示

规程文档显示には、SOX+3.0 から追加された规程文档显示図形のサンプルを用意しています。

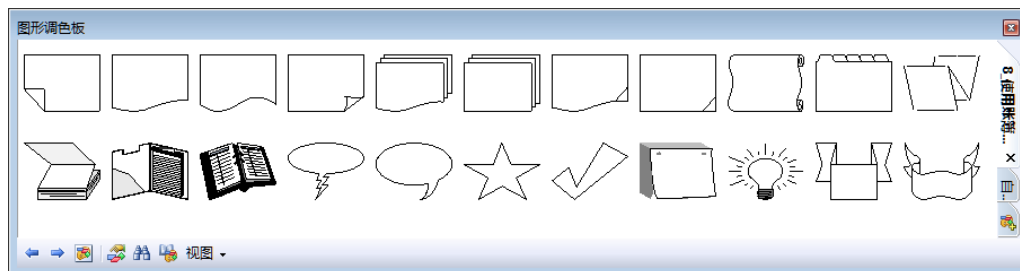
標準で用意されている図形以外の図形をお探しの場合は、このサンプルからコピーしてご利用ください。



使用账簿凭证显示

使用账簿凭证显示には、SOX+3.0 から追加された使用账簿凭证显示図形のサンプルを用意しています。

標準で用意されている図形以外の図形をお探しの場合は、このサンプルからコピーしてご利用ください。



规程文档显示と使用账簿凭证显示には、同じ図形が用意されています。両方で同じ図形を利用したい場合は、色分けするなどの工夫によりわかりやすくご利用頂けます。

第8章 自社用図形集とiGrafxテンプレートを作る

業務フローチャートを作成するにあたり、使用する図形やフローの向き、描画上のルールや印刷設定などを決めます。

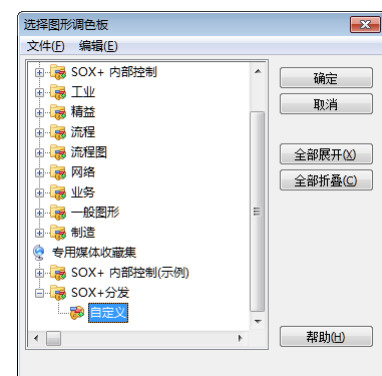
使用する図形は、自社用図形集として作成し、フローの向きや描画上のルール、印刷設定などは iGrafx テンプレートにあらかじめ設定しておきます。

自社用図形集を作成する

【SOX+分発】コレクションの「自定义」サブジェクトを利用します。

インストール時に用意されている【SOX+ 内部控制】コレクションの図形や【SOX+ 内部控制(示例)】コレクションから図形をコピーして、この「自定义」サブジェクトに貼り付けるだけで、簡単にオリジナルな図形集を作成できます。

作成した図形集は配布ファイル作成時に含めることができます。



図形の編集方法

図形のコピー

コピーしたい図形の上で右クリックをし、「复制」を選択します。

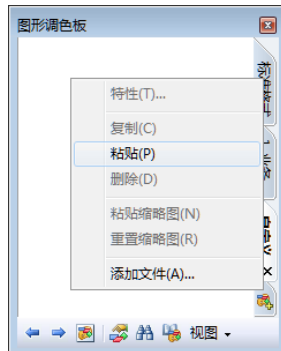
複数の図形を一度にコピーする方法として以下の複数選択の方法があります。

- ① 同じシート内で1つの図形を選択して、Shift キーを押しながら離れた図形を選択すると、その範囲で複数選択が可能です。
- ② 同じシート内で Ctrl キーを押しながら、任意の図形をクリックして複数選択します。



サンプル図形の貼り付け

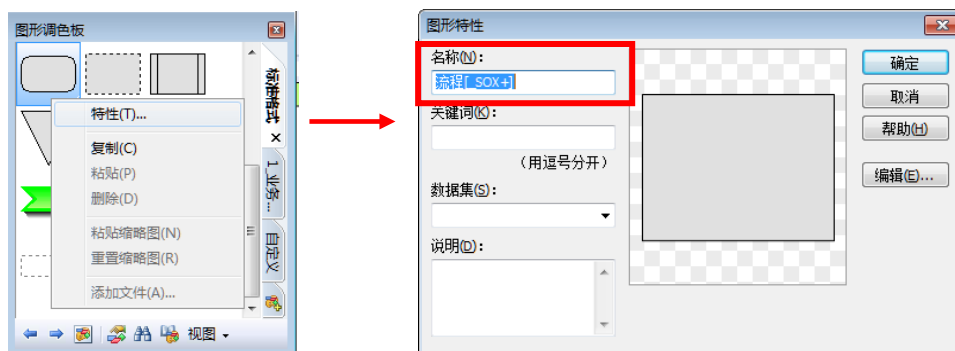
【SOX+分発】コレクションの「自定义」サブジェクトを開き、その上で右クリックして、メニューから「粘貼」を選択します。



※公共媒体收藏集のサブジェクトに対して図形の貼り付けはできません。

図形の名前の変更

貼り付けた図形の上で右クリックし、特性を開きます。



例えば、[1_业务详情] サブジェクトのサンプル図形は、すべて同じ名前（业务详情「_SOX+」）で登録されています。「自定义」サブジェクトにコピーした後で、使用する図形の意味に合わせ业务详情の部分を書き換えます。

※ [] で囲まれた部分は必要なので消さないでください。

図形の書式の変更

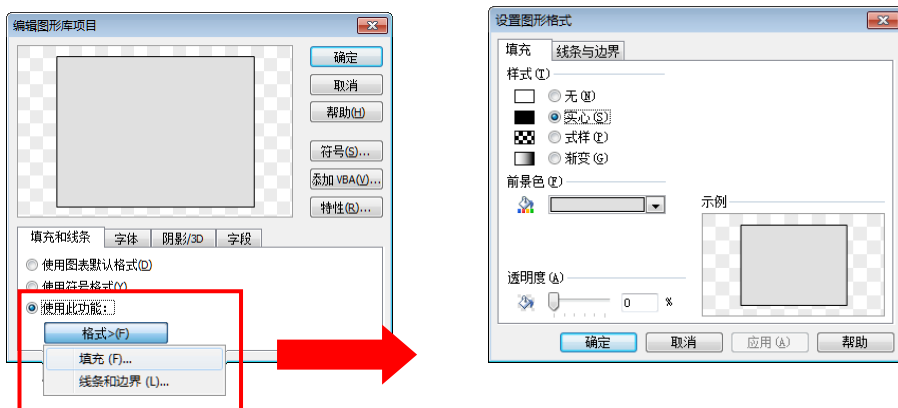
図形の特性を開きます。

- ① 「編集」 ボタンをクリックして「编辑图形库项目」ダイアログボックスを開きます。



- ② 「使用图表默认格式」にチェックが入っていると、フロー上に追加したときに、追加した先のファイルの図形の初期設定が反映されます。

図形固有で設定する場合は「使用此功能」にチェックを入れて書式ボタンを押し、体、填充、线条和边界、阴影 / 3D を選択して各ダイアログボックスを表示し、任意の設定に変更してください。

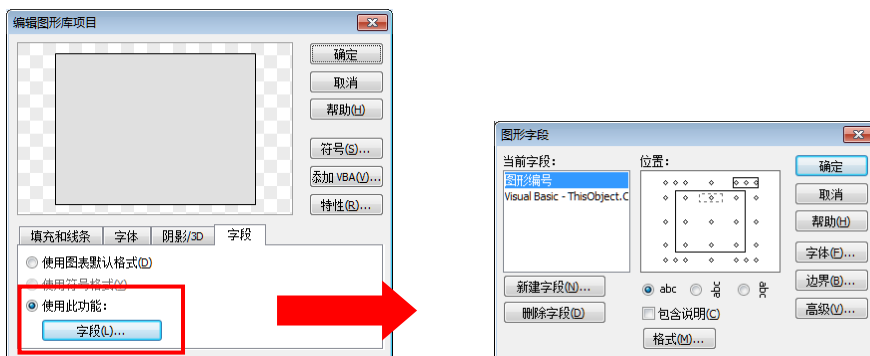


図形のフィールドの変更

図形が内部的に持っている値を図形のまわりに表記する機能です。

図形番号などのフィールド表記の書式や表記場所を変更することができます。

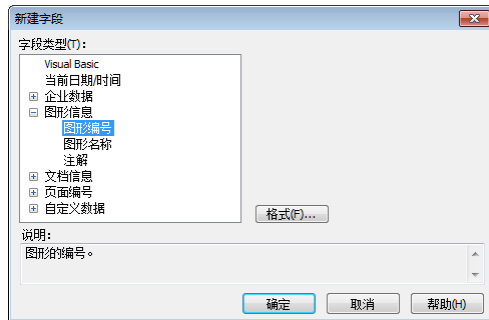
「字段」 ボタンをクリックして「图形字段」ダイアログボックスを開きます。



※ サンプル図形では、フィールド設定に図形番号の表示位置と書式の定義がされています。

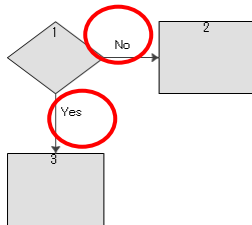
サンプル図形で設定されている図形番号は、フィールド画面の「高級」で非表示にしてありますので、画面上に配置した際に示されません。

「新建字段」ボタンをクリックすると、図形のまわりに表記できる値を選ぶことができます。

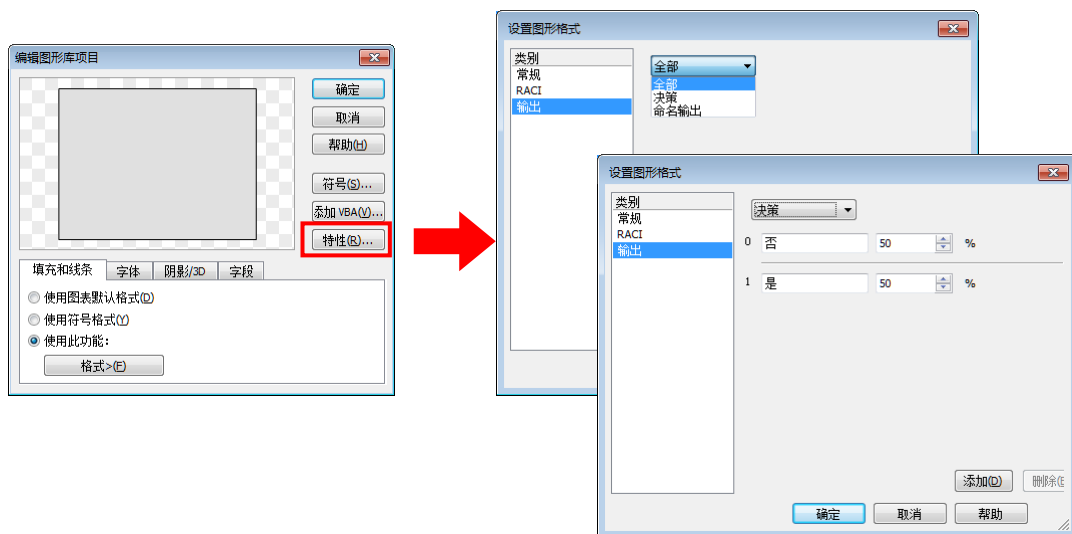


図形のプロパティの変更

ここではおもに業務フローチャートの判断に利用するラベルの出力や、ラベルそのものを変更することができます。



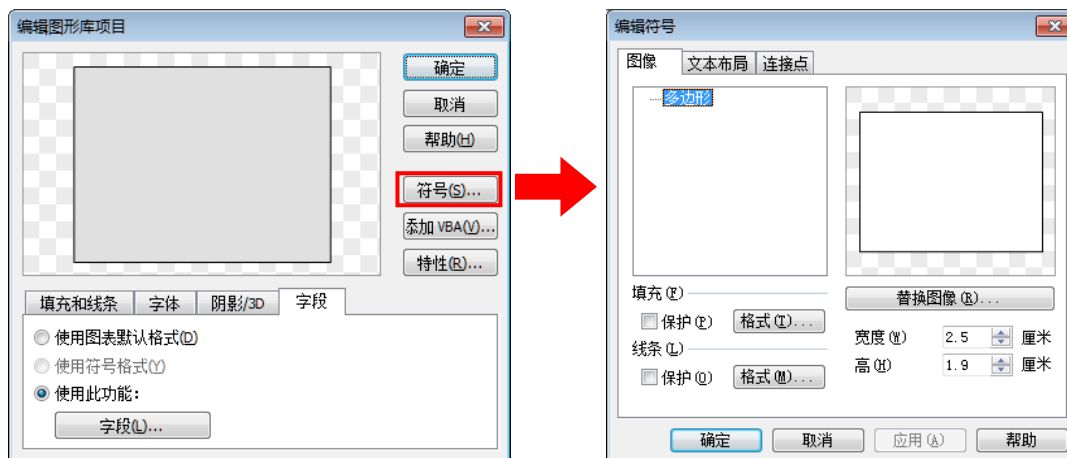
「特性」ボタンをクリックして「设置图形格式」ダイアログボックスを開きます。



図形のシンボルの変更

図形のサイズ、テキストのレイアウト、接続点の設定を変更することができます。

「符号」ボタンをクリックして「编辑符号」ダイアログボックスを開きます。



图像タブでサイズを定義することができます。

※「编辑图形库项目」画面にある、[添加 VBA] ボタンは絶対に押さないでください。間違えて押した場合は、その図形は破棄して、新しくサンプルコレクションからコピーして作りなおしてください。

替换图像ボタンをクリックすると、「替换图像」ダイアログボックスが開きます。図形パレットなどから任意の図形を選び、その図形のシンボルに置換することができます。(元の書式は残ります)



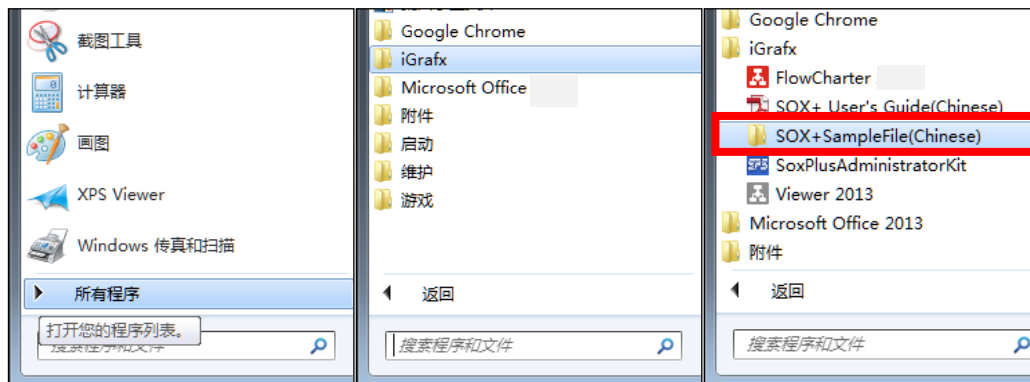
填充と线条的保护にチェックをした場合は、隣の格式ボタンがアクティブになり、そこで設定した書式が、フロー上で書式変更しようとしても保護されます。

iGrafxテンプレートの作成

iGrafxテンプレートサンプルの活用

SOX+をインストールすると、「开始」メニューの中の「所有程序」の「iGrafx」メニューの中に「SOX+SampleFile(Chinese)」というメニューが入っています。iGrafx テンプレートを作成する際には、サンプル iGrafx テンプレートをベースに自社用にカスタマイズすると便利です。

このメニューをクリックすると、SOX+で作図されたサンプルのフローや、iGrafx テンプレートのサンプルファイルが格納されているフォルダが開きます。



この中に以下の 2 種類の iGrafx テンプレートサンプルが保存されています。

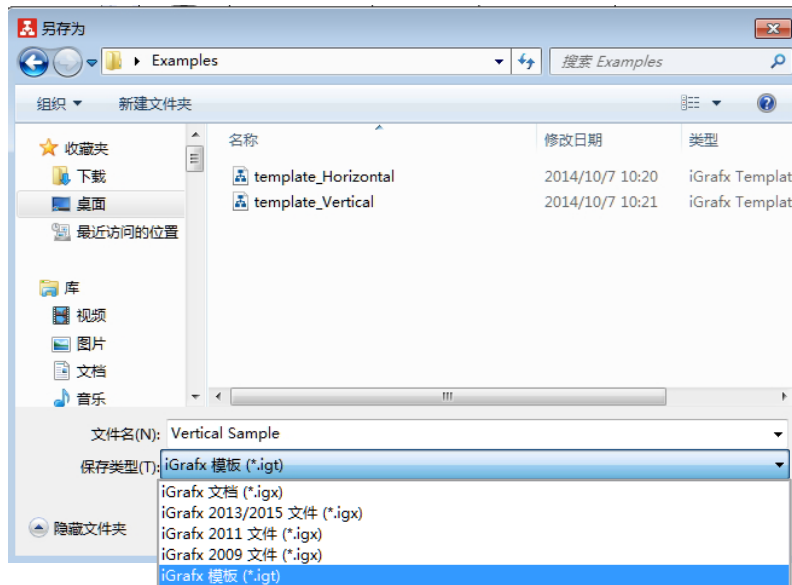
- template_Vertical.igt
- template_Horizontal.igt

各 iGrafx テンプレートサンプルでは、以下の設定があらかじめ定義されています。

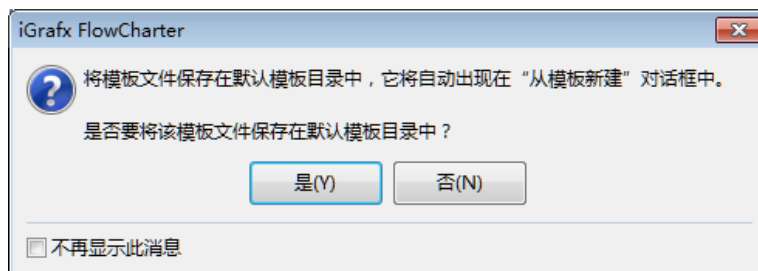
- いくつかの部門（それぞれ垂直、水平）を追加し初期設定
- 図形ライブラリ、接続線ライブラリ（直角線の実線と点線のみ）のカスタマイズ
- グリッドドットのスペースを 1 ミリへ変更
- ページ外コネクタの自動コネクタ設定
- インジケータのメモの表示位置の変更
- ページ設定のページのスケールを 70%に設定
- ページ設定のヘッダーの左と右セクションに出力変数をセット
- ページ設定のオプションでブックモードを選択し、各ページに部門のヘッダーが印刷されるよう設定
- 図表のドキュメントのデフォルト設定で図形やテキストのフォントを 8 ポイントへ変更
- 業務詳細項目のフィールド表示用のカスタムフィールドを定義（P78）

iGrafx テンプレートサンプルを開いて編集を行った場合、保存の際には必ず「另存为」を選んで保存してください。その際に「保存类型」で必ず「iGrafx 模板(*.igt)」を選択して保存してください。

※保存場所はどこでも結構です。



「iGrafx 模板(*.igt)」を選択して保存すると、以下のメッセージが表示されますので、「否」をクリックしてください。



※このメッセージで「是」を選んだ場合は、作成した igt ファイルは、iGrafx FlowCharter の iGrafx テンプレートを保存する領域へ保存し、「另存为」で選択した保存場所にファイルが保存されません。

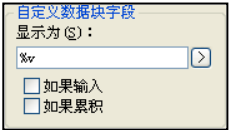
業務詳細項目フィールドの利用

業務詳細のいくつかの項目は、図表に所定の「自定义数据」プロパティを設定し、業務詳細図形に対応する「図形字段」を設定することで、図形の周りに項目の内容を表示させることができます。

※付属の「iGrafx テンプレートサンプル_*.igt」では既に設定されています。

業務详情ダイアログボックスで各項目を入力すると、自動的にその図形のプロパティの対応する「自定义数据」へ内容が転記され、さらにその「自定义数据」に対応する「図形字段」に表示されます。



カスタムデータ名	転記内容	種類	カスタムデータブロック
Regulations	规程文档	テキスト	 <p>※チェックをすべて外す</p>
Execution	业务实施者	テキスト	
Document	使用账簿凭证	テキスト	
Account	会计科目	テキスト	
AddedDeptName	添加部门	テキスト	

「自定义数据」の設定

「自定义数据」プロパティは図表ごとに設定する必要があります。この機能を標準で使用される場合は、設定の手間を省くため、あらかじめ「自定义数据」プロパティを設定した iGrafx テンプレートを準備し、そこからフローチャートを作成するようにしてください。

既存の図表でこの機能を利用したい場合は、「自定义数据」の設定をコピーするために、开始メニューの「所有程序」の中の「iGrafx」の中の「SOX+SampleFile(Chinese)」フォルダにある「Vertical Sample.igx」を開いてください。(P76)

開かれた図表上の適当な図形をコピーし、「自定义数据」プロパティを設定したい図表上へ貼り付けます。「自定义数据」プロパティが貼り付け先の図表にコピーされます。

貼り付けた図形はそのまま削除してください。「自定义数据」プロパティの設定はコピーした図形を消しても図表内に設定が残ります。

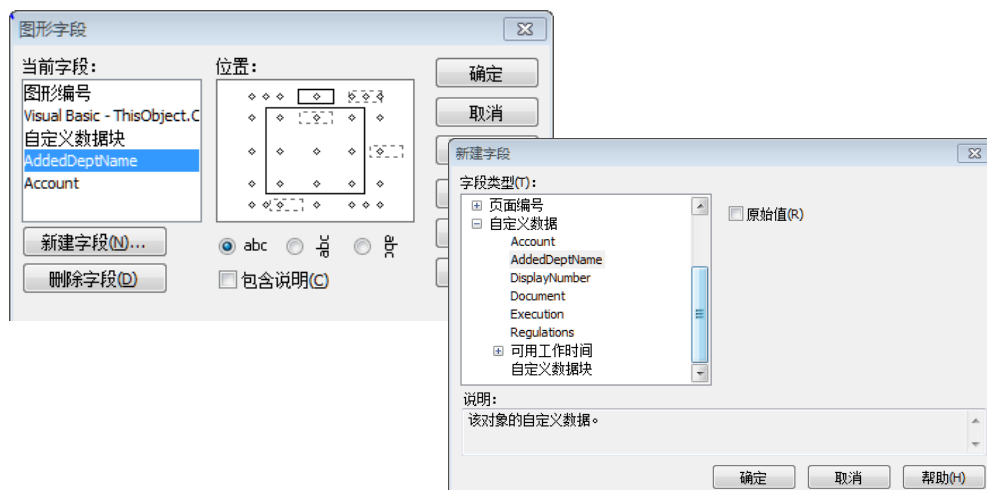
次に、業務詳細の各情報をカスタムデータへ転記するために、表示情報の更新を行います。「SOX+」メニューの「显示信息的更新」を選択してください。

業務詳細の項目に入力されていた内容が、「自定义数据」プロパティの対応するカスタムデータに転記されます。



「图形字段」の設定

「自定义数据」プロパティに転記された情報を実際に図形に表示するには、図形に、「图形字段」が設定されている必要があります。

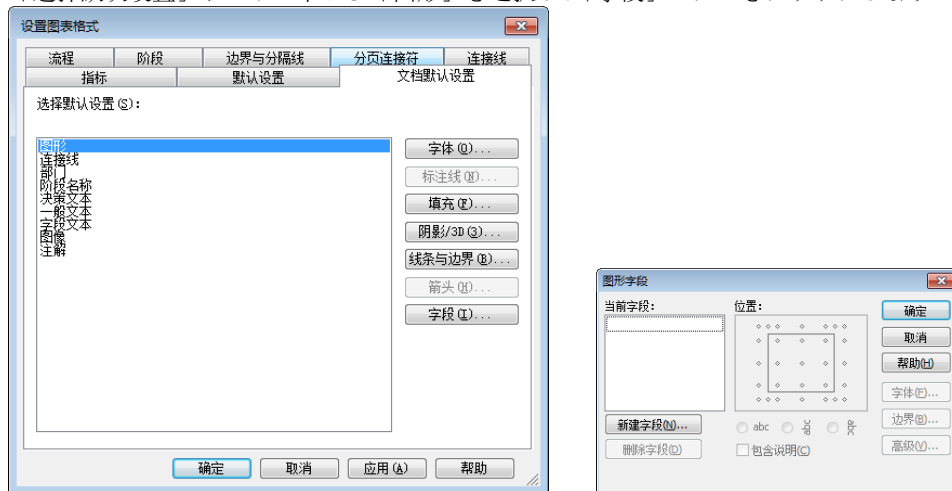


情報を表示したい図形を選択し、右クリックメニューの中の「字段」メニューを選択し、[图形字段] ダイアログボックスの[新建字段] ボタンを押します。

[新建字段] ダイアログボックスで[字段种类] の[自定义数据] を開き、表示したいデータを選択して OK ボタンを押します。[图形字段] ダイアログボックス上で位置の調整を行って確定ボタンを押し図形フィールド ダイアログボックスを閉じます。

図形に最初から「図形字段」を設定しておきたい場合は、[格式]メニューの[图表]メニューから[设置图表格式]ダイアログボックスの[文档默认设置]タブを開きます。

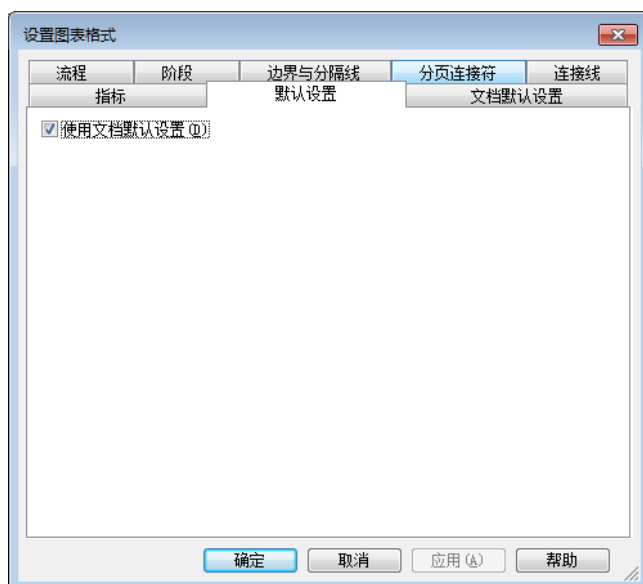
「选择默认设置」リストの中から「图形」を選択し、「字段」ボタンをクリックします。



ここで設定をしておくと、図形を配置したタイミングで図形フィールドが作成され、业务详情ダイアログボックスでデータを入力した（カスタムデータ内にデータが転記された）と同時に画面上にも表示されるようになります。

「默认设置」タブを開き「使用文档默认设置」にチェックを入れておきます。

「文档默认设置」はファイル単位の設定です。ファイルに存在する各图表は、この「文档默认设置」の設定値を継承します。



図表毎に別の設定をする場合は、「默认设置」タブの「使用文档默认设置」のチェックを外して、設定します。

第9章 付録

以下の表は、各シートの初期設定の列情報です。

〔表示〕が○の項目は初期設定の表示項目で、－は非表示項目を表します。

一括取込時に対象のデータが取り込まれるかどうかについては「取込」列をご参照ください。

「キー」：このキー項目が取込先フロー内のデータと一致しなければ全てのデータは取り込まれません。

「－」：このデータは取り込むことができません。

「テ」：テキストで入力された文章がそのまま取り込まれます。

「○」：Excel上で「○」と入力されていると、取り込みにより画面の該当する項目にチェックがつきます。

「リ」：リスト項目に存在しているデータのみ取り込まれます。

業務描述シート列情報

列 No		表示	取込	項目名	説明および備考
1	A	○	キー	文档识别码	文書情報の文書識別を出力
2	B	－	－	公司名称	文書情報の会社名を出力
3	C	－	－	事业基地	文書情報の事業拠点を出力
4	D	－	－	ID	文書情報のプロセス ID を出力
5	E	－	－	流程名称	文書情報のプロセス名称を出力
6	F	－	－	ID	文書情報のサブプロセス ID を出力
7	G	－	－	子流程名称	文書情報のサブプロセス名称を出力
8	H	－	－	ID	文書情報の業務 ID を出力
9	I	－	－	业务名称	文書情報の業務名称を出力
10	J	－	－	会计科目	文書情報の勘定科目を出力
11	K	－	－	规程文档	文書情報の規定文書を出力
12	L	－	－	使用账簿凭证	文書情報の使用帳票を出力
13	M	－	－	系统名称	文書情報のシステム名を出力
14	N	－	－	阶段	業務詳細のあるフェーズ名を出力
15	O	－	－	用于业务编号排序	システム利用セル（変更不可）
16	P	－	－	业务详情 ObjectID	システム利用セル（変更不可）

列 No		表示	取込	項目名		説明および備考
17	Q	○	キー	No		業務詳細の No を出力
18	R	○	テ	業務详情名称		業務詳細の名称を出力
19	S	○	テ	業務详情内容		業務詳細内容を出力
20	T	—	テ	図形名称		業務詳細図形に割り当てる図形の名称（新規取込時に参照されます）
21	U	—	テ	業務详情会計科目		業務詳細勘定科目を出力
22	V	—	—	部門（完整名称）		業務詳細のある部門名を出力 （親 Swimlane から通して名称を出力）
23	W	○	—	部門		業務詳細のある部門名を出力 （一番下位の Swimlane 名を出力）
24	X	○	テ	実施者		業務詳細の実施者を出力
25	Y	—	テ	规程文档		業務詳細の規定文書を出力
26	Z	—	テ	使用账簿凭证		業務詳細の使用帳票を出力
27	AA	—	○	职务分离	保全	業務詳細の職務分離：保全
28	AB	—	○		批准	業務詳細の職務分離：承認
29	AC	—	○		记录	業務詳細の職務分離：記録
30	AD	—	○		控制	業務詳細の職務分離：コントロール
31	AE	—	○		备用	業務詳細の職務分離：予備
32	AF	—	○		备用	業務詳細の職務分離：予備
33	AG	—	○		备用	業務詳細の職務分離：予備
34	AH	—	○		备用	業務詳細の職務分離：予備
35	AI	—	○		备用	業務詳細の職務分離：予備
36	AJ	—	○		备用	業務詳細の職務分離：予備
37	AK	—	○		备用	業務詳細の職務分離：予備
38	AL	—	○		备用	業務詳細の職務分離：予備
39	AM	—	テ	系统名称		業務詳細のシステム名を出力

列 No		表示	取込	項目名		説明および備考
40	AN	—	テ	备注		業務詳細の備考を出力
41	AO	—	—	(業務详情 に紐付く) 风险	风险 ObjectID	紐付いているリスクの ObjectID
42	AP	—	—		No	紐付いているリスク No を出力
43	AQ	—	—		分类	紐付いているリスク分類番号を出力
44	AR	—	—		标签	紐付いているリスクラベルを出力
45	AS	—	—		风险内容	紐付いているリスク内容を出力
46	AT	—	—		影响	紐付いているリスクのインパクトを 出力
47	AU	—	—	(業務详情 に紐付く) 控制	控制 ObjectID	紐付いているコントロールの ObjectID
48	AV	—	—		No	紐付いているコントロールの No を 出力
49	AW	—	—		标签	紐付いているコントロールのラベル を出力
50	AX	—	—		控制内容	紐付いているコントロールの内容を 出力

全てのデータは列の表示・非表示に関わらず存在していれば出力されますが、41～50 (AO～AX) の「業務详情に紐付くリスク・コントロールの情報」はオプション出力となっており、RCM テンプレートで非表示列となっている場合は出力されません。

RCMシート列情報

列 No		表示	取込	項目名	説明および備考
1	A	○	キー	文档识别码	文書情報の文書識別を出力
2	B	—	—	公司名称	文書情報の会社名を出力
3	C	—	—	事业基地	文書情報の事業拠点を出力
4	D	—	—	ID	文書情報のプロセス ID を出力
5	E	—	—	流程名称	文書情報のプロセス名称を出力
6	F	—	—	ID	文書情報のサブプロセス ID
7	G	—	—	子流程名称	文書情報のサブプロセス名称
8	H	—	—	ID	文書情報の業務 ID を出力
9	I	—	—	业务名称	文書情報の業務名称を出力
10	J	—	—	会计科目	文書情報の勘定科目を出力
11	K	—	—	阶段	フェーズを出力
12	L	—	—	业务详情 ObjectID	システム利用セル（変更不可）
13	M	○	—	No	業務詳細の No を出力
14	N	○	—	业务详情名称	業務詳細の名称を出力
15	O	—	—	业务详情 会计科目	業務詳細の勘定科目を出力
16	P	—	—	部门（完整名称）	業務詳細のある部門名を出力 （親 Swimlane から通して名称を出力）
17	Q	—	—	部门	部門を出力
18	R	—	—	用于编号排序	システム利用セル（変更不可）
19	S	—	—	风险 ObjectID	システム利用セル（変更不可）
20	T	○	キー	No.	リスクナンバーを出力
21	U	—	テ	分类	リスク分類を出力
22	V	○	リ	范畴	カテゴリーを出力
23	W	—	テ	标签	ラベルを出力

列 No		表示	取込	項目名		説明および備考
24	X	○	テ	リスク内容		リスク内容を入力
25	Y	—	テ	影響		インパクトを入力
26	Z	—	○	制御目的	財務報告の信頼性	選択されていたら [○] を入力
27	AA	—	○		業務の有効性及効率性	選択されていたら [○] を入力
28	AB	—	○		事業活動関連の法令遵守	選択されていたら [○] を入力
29	AC	—	○		資産保全	選択されていたら [○] を入力
30	AD	—	○		備用	予備
31	AE	—	○		備用	予備
32	AF	—	○		備用	予備
33	AG	—	リ	影響度		影響度を入力
34	AH	—	リ	発生頻度		発生頻度を入力
35	AI	—	リ	影響範囲		影響範囲を入力
36	AJ	—	リ	損失予測		損失想定を入力
37	AK	—	テ	備考		備考を入力
38	AL	○	○	リスクの審査要点	真実性	選択されていたら [○] を入力
39	AM	○	○		完全性	選択されていたら [○] を入力
40	AN	○	○		権利と義務の帰属	選択されていたら [○] を入力
41	AO	○	○		評価の妥当性	選択されていたら [○] を入力
42	AP	○	○		分攤の妥当性	選択されていたら [○] を入力
43	AQ	○	○		表現と開示の妥当性	選択されていたら [○] を入力
44	AR	—	○		備用	予備
45	AS	—	○		備用	予備
46	AT	—	○		備用	予備

列 No		表示	取込	項目名		説明および備考
47	AU	—	○		备用	予備
48	AV	—	○		备用	予備
49	AW	—	○		备用	予備
50	AX	—	○		备用	予備
51	AY	—	○		备用	予備
52	AZ	—	—	目標リスク	文档识别码	ターゲットリスクの文書識別
53	BA	—	—		风险的 ObjectID	システム利用セル（変更不可）
54	BB	—	—		文件名	ターゲットリスクのファイル名
55	BC	—	—		风险 No	ターゲットリスクナンバー
56	BD	—	○	控制的审计要点	真实性	選択されていたら [○] を出力
57	BE	—	○		完整性	選択されていたら [○] を出力
58	BF	—	○		权利与义务的归属	選択されていたら [○] を出力
59	BG	—	○		估价的妥当性	選択されていたら [○] を出力
60	BH	—	○		分摊的适当性	選択されていたら [○] を出力
61	BI	—	○		表达和披露的妥当性	選択されていたら [○] を出力
62	BJ	—	○		备用	予備
63	BK	—	○		备用	予備
64	BL	—	○		备用	予備
65	BM	—	○		备用	予備
66	BN	—	○		备用	予備
67	BO	—	○		备用	予備
68	BP	—	○		备用	予備
69	BQ	—	○		备用	予備
70	BR	○	キー	文档识别码		文書情報の文書識別を出力

列 No		表示	取込	項目名	説明および備考
71	BS	—	—	公司名称	文書情報の会社名を出力
72	BT	—	—	事業基地	文書情報の事業拠点を出力
73	BU	—	—	ID	文書情報のプロセス ID を出力
74	BV	—	—	流程名称	文書情報のプロセス名称を出力
75	BW	—	—	ID	文書情報のサブプロセス ID
76	BX	—	—	子流程名称	文書情報のサブプロセス名称
77	BY	—	—	ID	文書情報の業務 ID を出力
78	BZ	—	—	業務名称	文書情報の業務名称を出力
79	CA	—	—	会計科目	文書情報の勘定科目を出力
80	CB	—	—	阶段	フェーズを出力
81	CC	—	—	業務详情 ObjectID	システム利用セル（変更不可）
82	CD	○	—	No	業務詳細の No を出力
83	CE	○	—	業務详情名称	業務詳細の名称を出力
84	CF	—	—	用于编号排序	システム利用セル（変更不可）
85	CG	—	—	控制 ObjectID	システム利用セル（変更不可）
86	CH	○	キー	No	コントロール No を出力
87	CI	—	テ	标签	ラベルを出力
88	CJ	○	テ	控制内容	コントロール内容を出力
89	CK	○	リ	控制类型	統制タイプを出力
90	CL	○	リ	控制频度	統制頻度を出力
91	CM	—	リ	随时发生频度（隐藏项目）	随時の発生頻度を出力
92	CN	—	—	部门（完整名称）	業務詳細のある部門名を出力 （親 Swimlane から通して名称を出力）
93	CO	○	—	部门	部門を出力
94	CP	○	テ	实施者	実施者を出力

列 No		表示	取込	項目名		説明および備考
95	CQ	○	テ	凭证		証憑を出力
96	CR	○	テ	規程文档		規定文書を出力
97	CS	○	テ	系统名称		システム名を出力
98	CT	—	○	控制分类	批准与决策	選択されていたら [○] を出力
99	CU	—	○		管理者等审核	選択されていたら [○] を出力
100	CV	—	○		核对	選択されていたら [○] を出力
101	CW	—	○		通过职务分离进行内部牵制	選択されていたら [○] を出力
102	CX	—	○		完善规程与指南	選択されていたら [○] を出力
103	CY	—	○		确认预算比等指标	選択されていたら [○] を出力
104	CZ	—	○		抽取错误与异常	選択されていたら [○] を出力
105	DA	—	○		系统上的控制	選択されていたら [○] を出力
106	DB	—	○		访问限制	選択されていたら [○] を出力
107	DC	—	○		备用	予備
108	DD	—	○		备用	予備
109	DE	—	○		备用	予備
110	DF	—	○		备用	予備
111	DG	—	○		备用	予備
112	DH	—	○		备用	予備
113	DI	—	○		备用	予備
114	DJ	○	○	种类	预防性	選択されていたら [○] を出力
115	DK	○	○		发现性	選択されていたら [○] を出力
116	DL	—	○		备用	予備
117	DM	○	○	程度	一次性	選択されていたら [○] を出力
118	DN	○	○		二次性	選択されていたら [○] を出力

列 No		表示	取込	項目名		説明および備考
119	DO	—	○		备用	予備
120	DP	○	リ	控制级别		統制レベルを出力
121	DQ	—	○	控制缺陷		選択されていたら [○] を出力
122	DR	—	○	种类 (目标风险属性)	预防性	選択されていたら [○] を出力
123	DS	—	○		发现性	選択されていたら [○] を出力
124	DT	—	○		备用	予備
125	DU	—	○	程度 (目标风险属性)	一次性	選択されていたら [○] を出力
126	DV	—	○		二次性	選択されていたら [○] を出力
127	DW	—	○		备用	予備
128	DX	—	リ	控制级别 (目标风险属性)		統制レベルを出力
129	DY	—	○	控制缺陷 (目标风险属性)		選択されていたら [○] を出力
130	DZ	—	○	测试详情	方法	テスト方法を出力
131	EA	—	○		实施者	テスト実施者を出力
132	EB	—	○		周期	テスト周期を出力
133	EC	—	○	备注		備考を出力

使用账簿凭证一覧シート列情報

このシートの情報は一括取込対象外です。

列 No		表示	項目名	説明および備考
1	A	○	文档识别码	文書情報の文書識別を出力
2	B	—	公司名称	文書情報の会社名を出力
3	C	—	事业基地	文書情報の事業拠点を出力
4	D	—	ID	文書情報のプロセス ID を出力
5	E	—	流程名称	文書情報のプロセス名称を出力
6	F	—	ID	文書情報のサブプロセス ID を出力
7	G	—	子流程名称	文書情報のサブプロセス名称を出力
8	H	—	ID	文書情報の業務 ID を出力
9	I	—	业务名称	文書情報の業務名称を出力
10	J	—	会计科目	文書情報の勘定科目を出力
11	K	—	阶段	業務詳細のあるフェーズ名を出力
12	L	○	使用账簿凭证	業務詳細の使用帳票を出力
13	M	—	用于排序的业务编号	システム利用セル（変更不可）
14	N	—	业务详情 ObjectID	システム利用セル（変更不可）
15	O	○	No	業務詳細の No を出力
16	P	○	业务详情	業務詳細の名称を出力
17	Q	—	业务详情内容	業務詳細内容を出力
18	R	—	业务详情会计科目	業務詳細勘定科目を出力
19	S	—	部门（完整名称）	業務詳細のある部門名を出力 (親 Swimlane から通して名称を出力)
20	T	○	部门	業務詳細のある部門名を出力 (一番下位の Swimlane 名を出力)
21	U	○	实施者	業務詳細の実施者を出力
22	V	—	规程文档	業務詳細の規定文書を出力

列 No		表示	項目名		説明および備考
23	W	—	职务分离	保全	選択されていたら [○] を出力
24	X	—		批准	選択されていたら [○] を出力
25	Y	—		记录	選択されていたら [○] を出力
26	Z	—		控制	選択されていたら [○] を出力
27	AA	—		备用	予備
28	AB	—		备用	予備
29	AC	—		备用	予備
30	AD	—		备用	予備
31	AE	—		备用	予備
32	AF	—		备用	予備
33	AG	—		备用	予備
34	AH	—		备用	予備
35	AI	—	系统名称		業務詳細のシステム名を出力
36	AJ	—	备注		業務詳細の備考を出力

凭证一覧シート列情報

このシートの情報は一括取込対象外です。

列 No		表示	項目名	説明および備考
1	A	○	文档识别码	文書情報の文書識別を出力
2	B	—	公司名称	文書情報の会社名を出力
3	C	—	事业基地	文書情報の事業拠点を出力
4	D	—	ID	文書情報のプロセス ID を出力
5	E	—	流程名称	文書情報のプロセス名称を出力
6	F	—	ID	文書情報のサブプロセス ID
7	G	—	子流程名称	文書情報のサブプロセス名称
8	H	—	ID	文書情報の業務 ID を出力
9	I	—	业务名称	文書情報の業務名称を出力
10	J	—	会计科目	文書情報の勘定科目を出力
11	K	○	凭证	コントロールの証憑を出力
12	L	—	阶段	フェーズを出力
13	M	—	业务详情 Object ID	システム利用セル（変更不可）
14	N	○	No	業務詳細の No を出力
15	O	○	业务详情名称	業務詳細の名称を出力
16	P	—	用于编号排序	システム利用セル（変更不可）
17	Q	—	控制 Object ID	システム利用セル（変更不可）
18	R	○	No	コントロール No を出力
19	S	—	标签	コントロールのラベルを出力
20	T	—	控制内容	コントロール内容を出力
21	U	○	控制类型	コントロールの統制タイプを出力
22	V	○	統制頻度	コントロールの統制頻度を出力
23	W	—	随時の発生頻度（非表示項目）	コントロールの随時の発生頻度を出力

列 No		表示	項目名		説明および備考
24	X	—	部門 (完整名称)		業務詳細のある部門名を出力 (親 Swimlane から通して名称を出力)
25	Y	○	部門		部門を出力
26	Z	○	実施者		コントロールの実施者を出力
27	AA	—	規程文書		コントロールの規定文書を出力
28	AB	—	システム名称		コントロールのシステム名を出力
29	AC	—	制御分類	批准与决策	選択されていたら [○] を出力
30	AD	—		管理者等审核	選択されていたら [○] を出力
31	AE	—		核对	選択されていたら [○] を出力
32	AF	—		通过职务分离进行 内部牵制	選択されていたら [○] を出力
33	AG	—		完善规程与指南	選択されていたら [○] を出力
34	AH	—		确认预算比等指标	選択されていたら [○] を出力
35	AI	—		抽取错误与异常	選択されていたら [○] を出力
36	AJ	—		系统上的控制	選択されていたら [○] を出力
37	AK	—		访问限制	選択されていたら [○] を出力
38	AL	—		备用	予備
39	AM	—		备用	予備
40	AN	—		备用	予備
41	AO	—		备用	予備
42	AP	—		备用	予備
43	AQ	—		备用	予備
44	AR	—		备用	予備
45	AS	○	制御级别		コントロールの統制レベルを出力
46	AT	—	テスト詳細	方法	コントロールのテスト方法を出力
47	AU	—		実施者	コントロールのテスト実施者を出力

列 No		表示	項目名		説明および備考
48	AV	—		周期	コントロールのテスト周期を出力
49	AW	—	备注		コントロールの備考を出力



<https://www.sunplanning.co.jp/>